

宇治木津線 城陽～木津川

計画段階評価

平成28年12月

# 目次

<b>1. 評価対象区間</b>	… 2
<b>2. 地域の現状と課題</b>	… 4
<b>3. 道路交通の現状と課題</b>	… 9
<b>4. 地域に配慮すべき事項(自然環境)</b>	…14
<b>5. 政策目標の素案(地域、道路交通の課題とその要因)</b>	…15
<b>6. 地域の将来像との整合</b>	…16
<b>7. 政策目標の案(整備方針の検討)</b>	…17
<b>8. 意見聴取方法(案)</b>	…18
<b>9. 今後の計画段階評価のすすめ方(案)</b>	…24

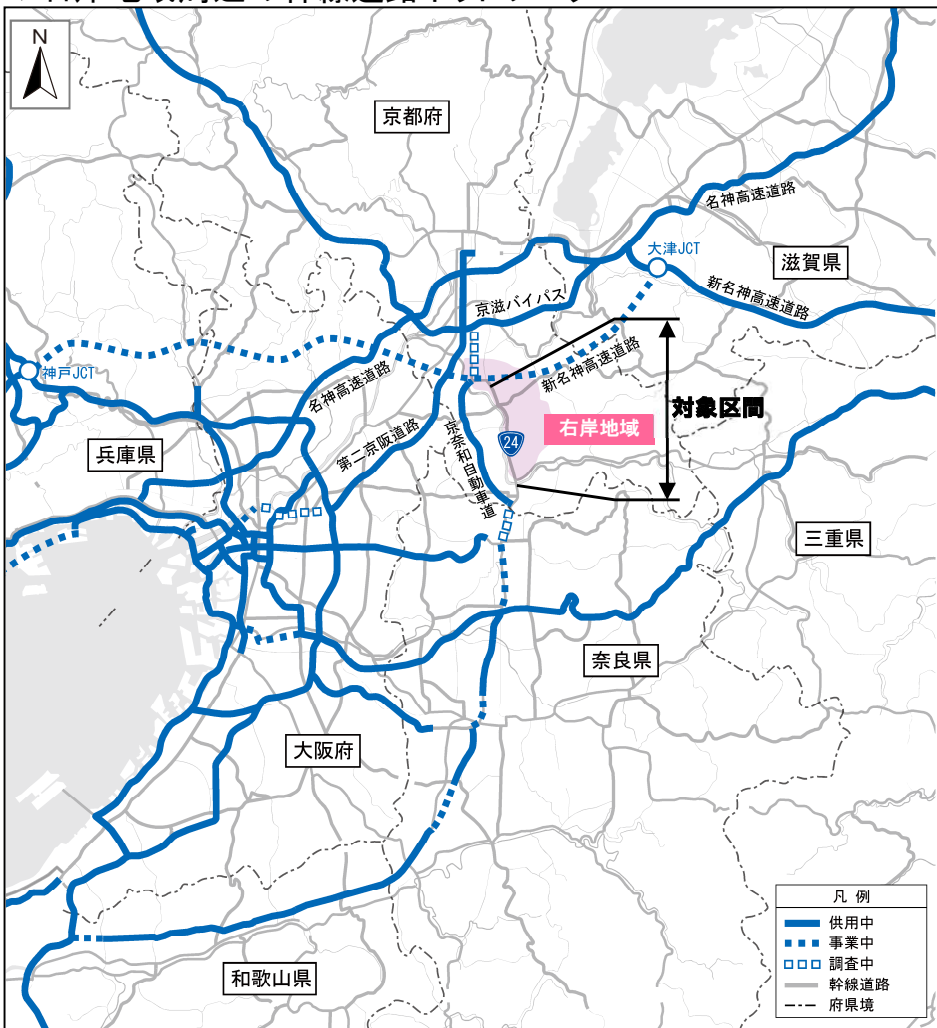
# 1. 評価対象区間

○木津川右岸に位置する対象区間の宇治木津線 城陽～木津川は、城陽市、井手町、木津川市(旧山城町)で構成される(以下「右岸地域」)。

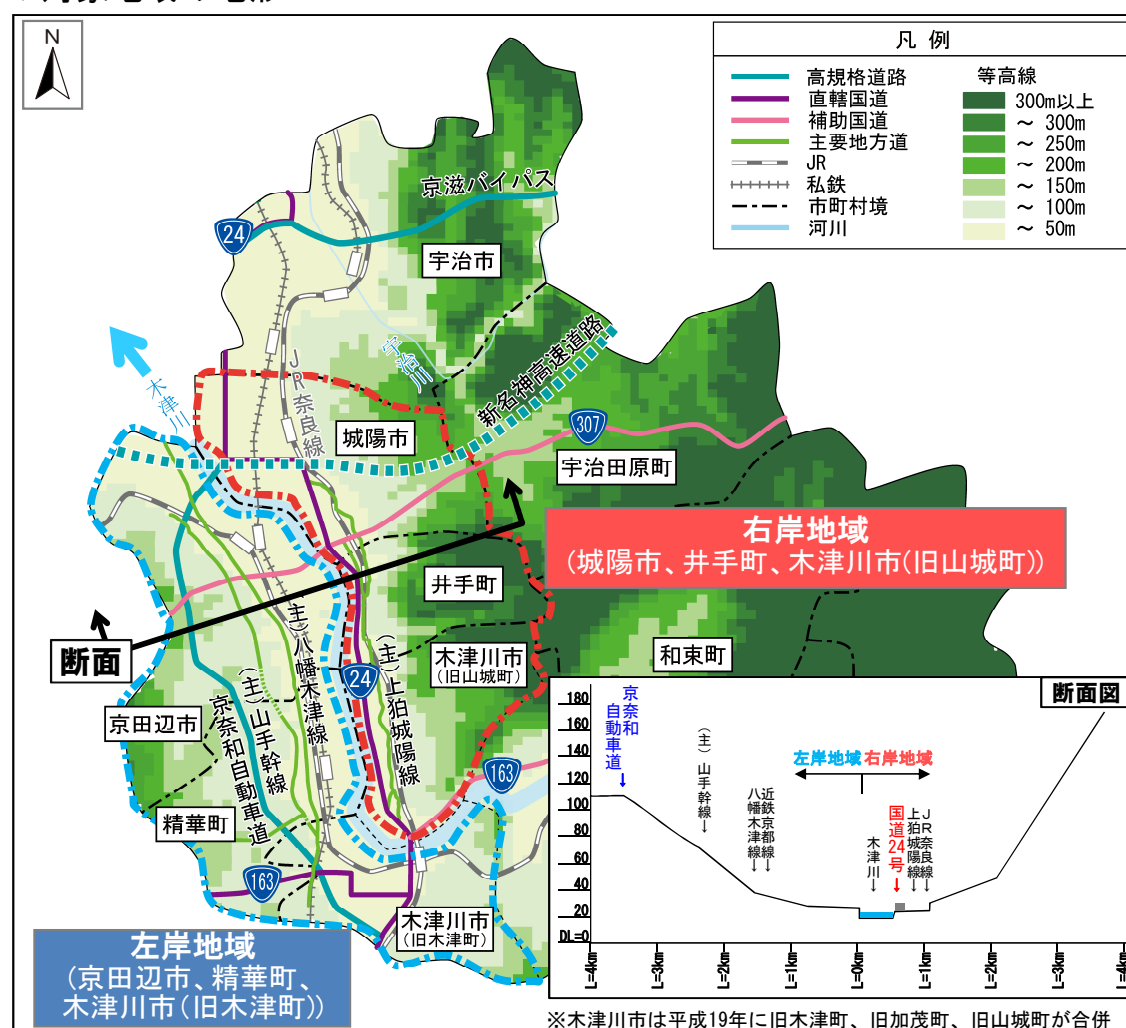
○右岸地域周辺の幹線道路ネットワークは、南北方向の京奈和自動車道、国道24号、東西方向の京滋バイパス、新名神高速道路(事業中)で構成される。

○右岸地域には山地、木津川以西(左岸地域)には丘陵地が広がる。

▼右岸地域周辺の幹線道路ネットワーク



▼対象地域の地形



※木津川市は平成19年に旧木津町、旧加茂町、旧山城町が合併

# 1. 評価対象区間

- 右岸地域における南北方向の道路ネットワークは、国道24号および(主)上狛城陽線の2路線で構成されている。
- 左岸地域は、京奈和自動車道、(主)八幡木津線、(主)山手幹線等の3路線で構成されている。

▼周辺の道路ネットワーク



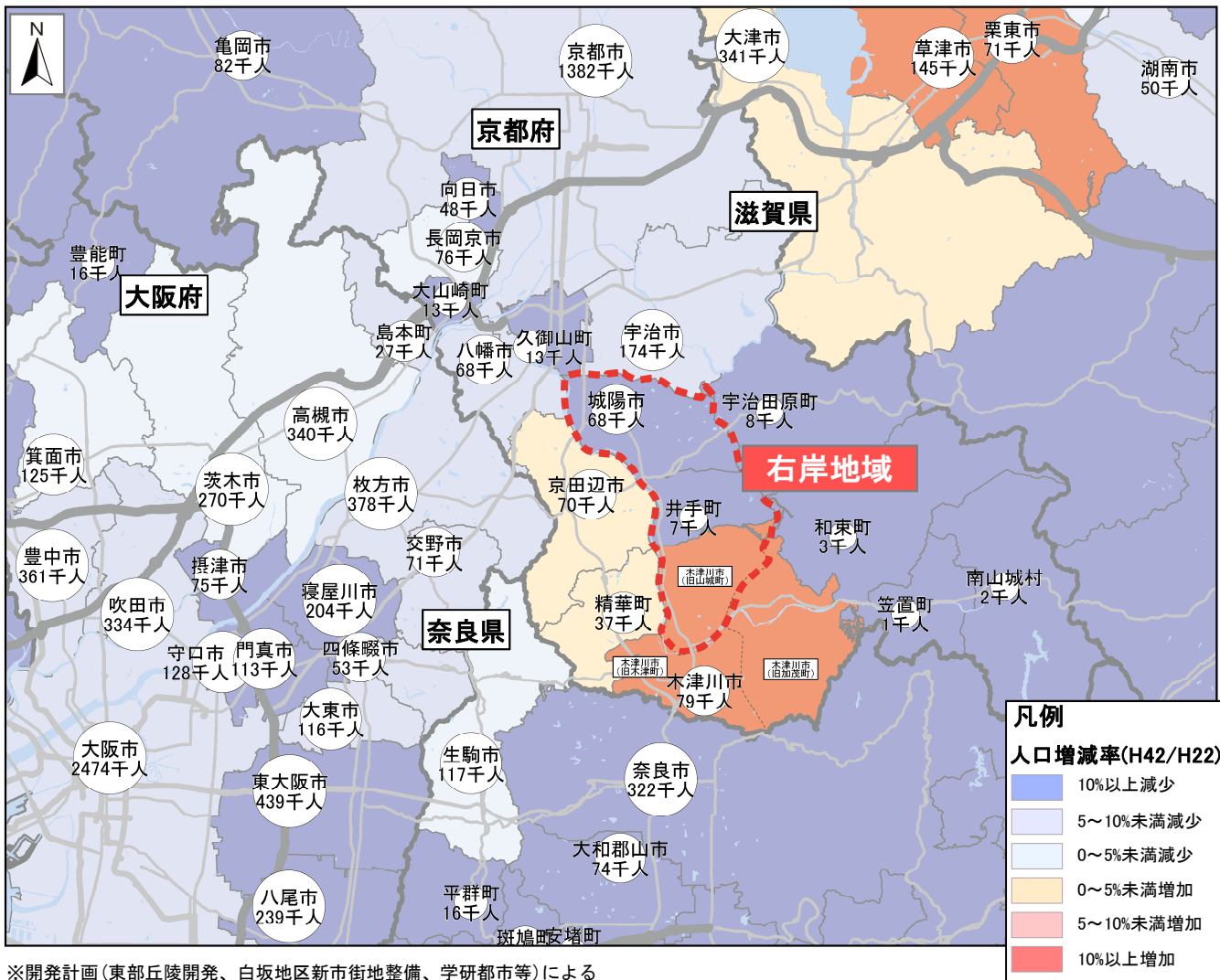


## 2. 地域の現状と課題（人口）

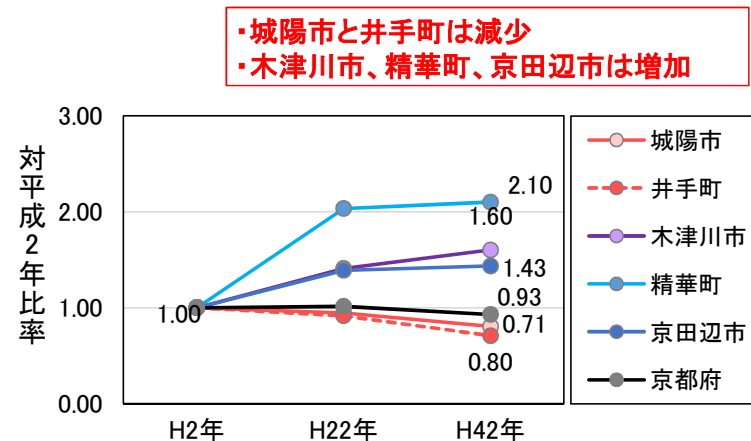
○木津川市・京田辺市・精華町は、京阪地域の中でも極僅かな人口増加が見込まれる地域である。

○通勤時における自動車交通の割合は、府平均に比べて1.5倍以上であり、自動車交通への依存度が高い地域である。

▼対象地域における将来人口と増減率(H42/H22)

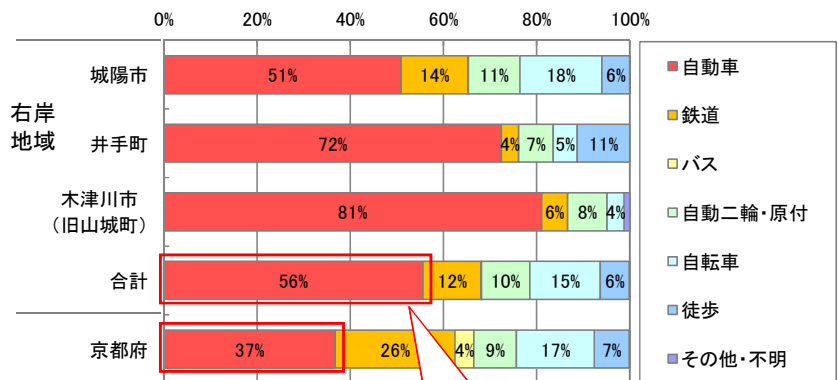


▼周辺市町村における人口の推移



出典：平成2年と平成22年は国勢調査  
平成42年は国立社会保障・人口問題研究所

▼出勤目的における交通機関分担率



府平均の1.5倍

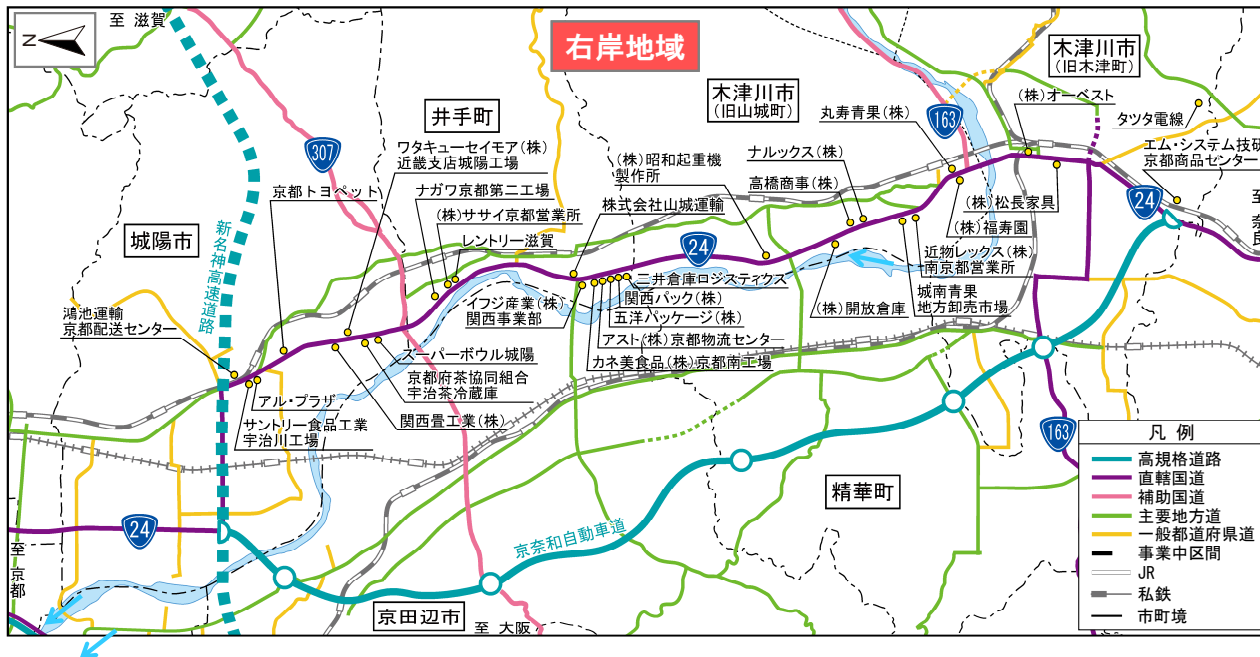
出典：H22パーソントリップ調査

出典：平成2年と平成22年は国勢調査  
平成42年は国立社会保障・人口問題研究所

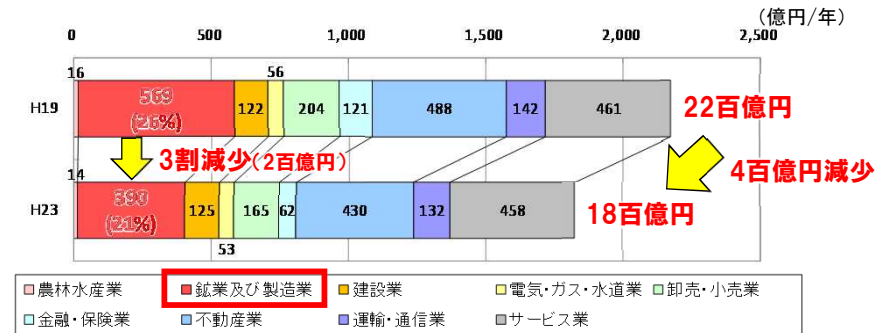
## 2. 地域の現状と課題（地域経済）

- 右岸地域の市町村内総生産額は減少しており、主要産業である「鉱業及び製造業」が減少額の半分を占める。
- 国道24号沿道には、製造業を始めとする多くの企業が立地しており、右岸地域の製造品出荷額は、平成20年に比べ3割減少している。

### ▼国道24号沿道における主な企業立地状況

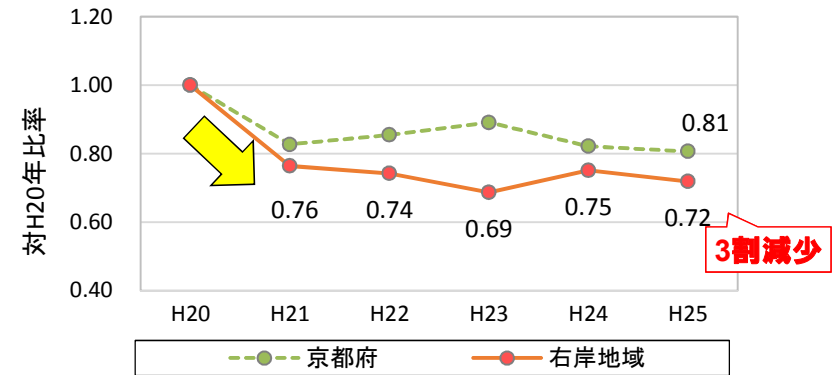


### ▼市町村内総生産額の推移



※旧山城町、旧木津町の市町村内総生産は木津川市の総生産をH17の各総生産で按分した値  
出典：京都市町村民経済計算

### ▼製造品出荷額の推移(H20年比率)



※旧山城町、旧木津町はH18の製造品出荷額の割合で、木津川市の値を按分  
出典：工業統計調査



(株) 昭和起重機製作所  
京都工場  
・資本金：9,600万円  
・創立：昭和8年12月1日  
・事業概要：運搬機械、省力機器、立体駐車場設備、住宅設備、その他機械の製造販売



ワタキューセイモア(株)  
近畿支店城陽工場  
・資本金：4,850万円  
・創業：明治5年10月5日  
・事業概要：寝具や衣料のリース、医療・福祉施設の管理業務、療養環境づくりのアンティテー業務等



五洋パッケージ(株)  
・資本金：1億円  
・従業員：150名  
・創立：昭和26年9月  
・事業概要：段ボールケース・段ボールシートの製造販売



(株) 福寿園  
・従業員：340名  
・資本金：8,600万円  
・創業：寛政2年(1790年)

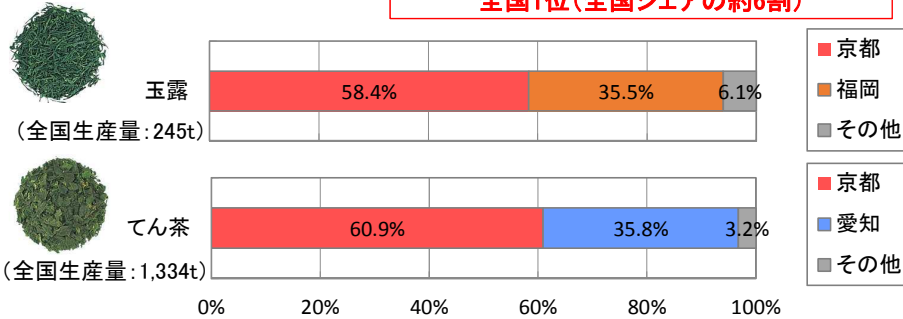
## 2. 地域の現状と課題（地域経済）

○右岸地域を含む山城地域には、日本遺産に認定された茶畑(宇治茶)が広がり、高級茶(玉露・てん茶)を生産している。京都府の高級茶生産量は全国の約6割を占め、そのうちの約9割を山城地域が占める。

○茶畑から工場、東京・奈良方面への搬送には国道24号が利用されるが、国道24号の混雑が支障となっている。

### ▼高級茶生産量の全国シェア

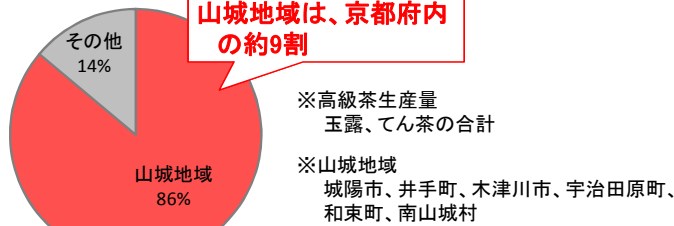
京都府は、玉露及びてん茶の高級茶生産量  
全国1位(全国シェアの約6割)



出典：世界遺産暫定一覧表記載資産候補に係る提案書(案) 京都府(平成26年2月)、伊藤園

### ▼高級茶生産量の京都府内シェア

山城地域は、京都府内の約9割



※高級茶生産量  
玉露、てん茶の合計

※山城地域  
城陽市、井手町、木津川市、宇治田原町、和束町、南山城村

出典：「宇治茶を世界文化遺産に」 平成25年京都府統計書

### 【トピック】

#### 山城地域の日本茶800年の歴史、日本遺産に認定

府南部の山城地域で育まれてきた日本茶800年の歴史が、今年度から始まった文化庁の「日本遺産」に認定された。宇治茶の世界文化遺産登録や観光客増に弾みがつくと、関係者からは喜びの声が上がった。

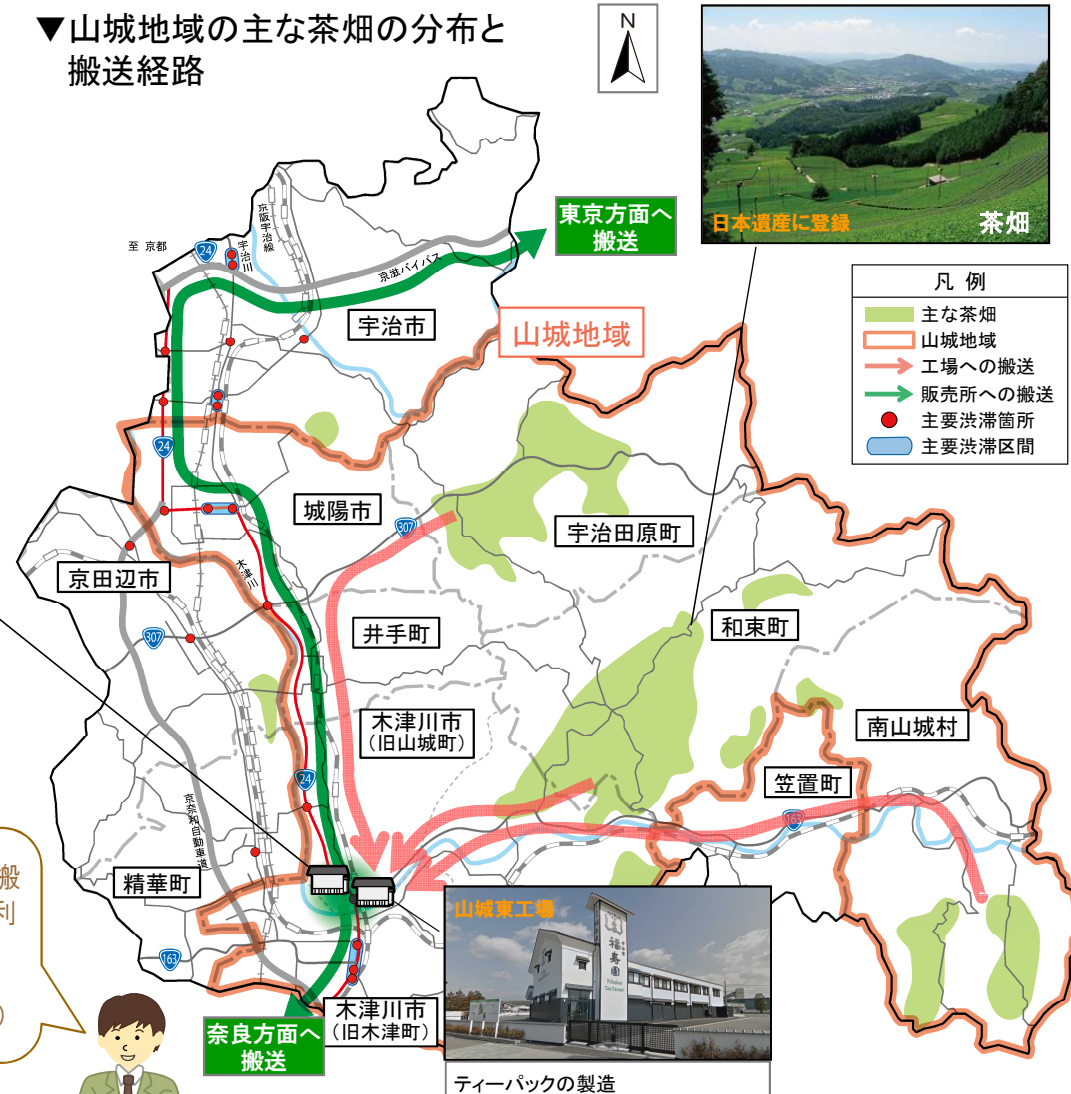
府は南部の観光戦略「お茶の京都」を進めており、山田啓二知事は「世界遺産が最初に認定される時、みんな『何だろう?』と思ったが(世界遺産を巡る)ツアーができるくらいになった。観光関係では大変大きなツールになるのは間違いない」と喜んだ。

出典：朝日新聞 抜粋(H27.4.25)

国道24号は、茶畑から工場への搬送、工場から全国への搬送時に利用していますが、渋滞がひどく、困っています。

(福寿園)

### ▼山城地域の主な茶畑の分布と搬送経路





# 2. 地域の現状と課題（地域振興）

- 京奈和自動車道開通により、左岸地域の事業所、従業者および人口が増加している。
- 開発地区の現在の分譲比率は約5割となっており、さらなる人口増と企業立地の進行が予測される。
- 右岸地域・左岸地域には今後も開発計画が多数あり、研究施設や大学施設、文化施設、ショッピングセンター、物流施設、住宅地開発等が予定されている。

## ▼開発計画の状況

**東部丘陵開発(城陽市)**

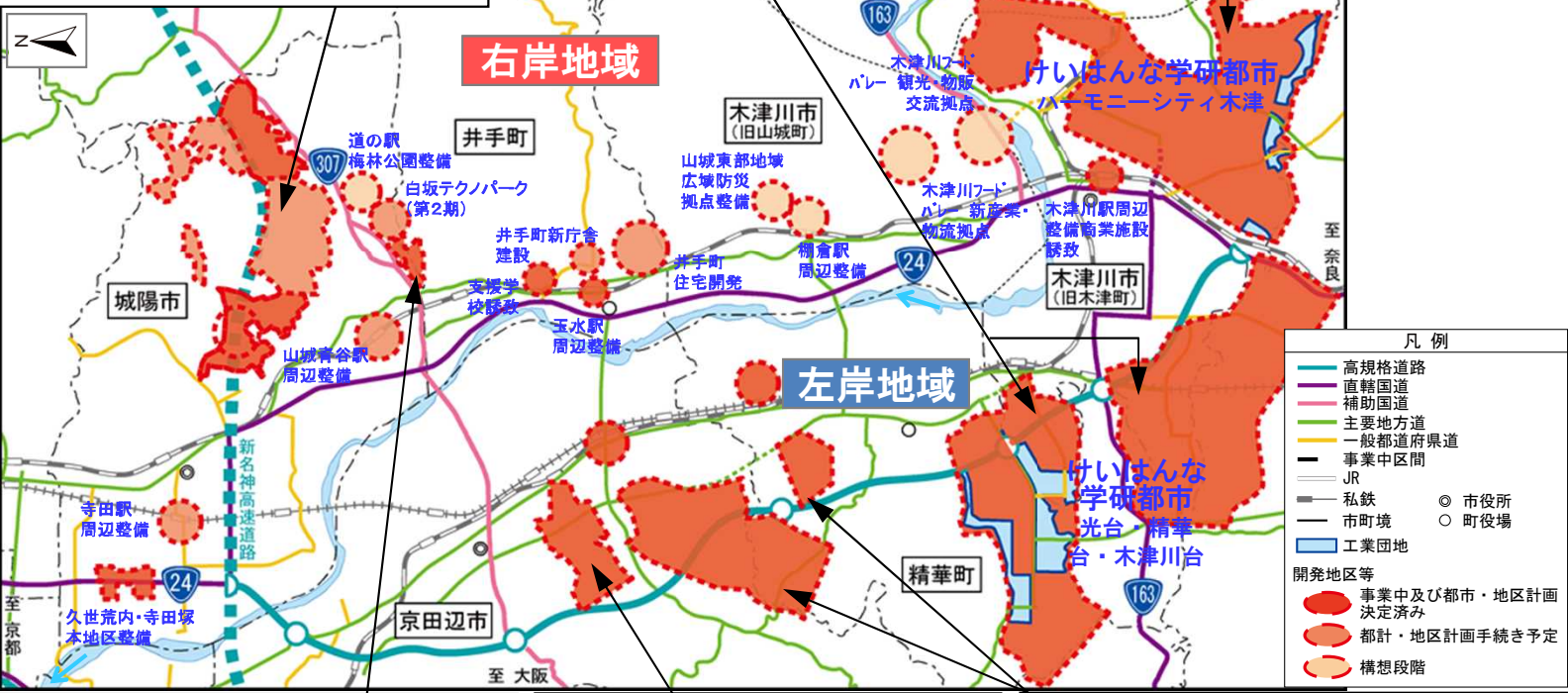
- 先行整備青谷地区:物流施設立地予定。
- 先行整備長池地区:広域型ショッピングセンター立地予定。
- 開発規模:150.6ha

**精華・西木津地区(精華町・木津川市)**

- ONTT、パナソニック、島津製作所、サントリー、オムロン、京セラ、ATR等の施設が立地
- 開発規模:157ha(うち、64%が事業地として分譲済み)

**学研都市木津地区(木津川市)**

- 国家プロジェクトとして、110を超える研究施設、大学施設、文化施設等が立地進行中。(京都大学農場、量子科学技術研究開発機構、ロート製薬など開設済)
- 開発規模:737ha 区域内人口は3.3万人を想定。



**白坂地区新市街地整備(城陽市・井手町)**

- 雇用創出に向けた新たな産業を誘致するための市街地として整備。
- 開発規模:18.8ha(うち、住宅:12.3ha)

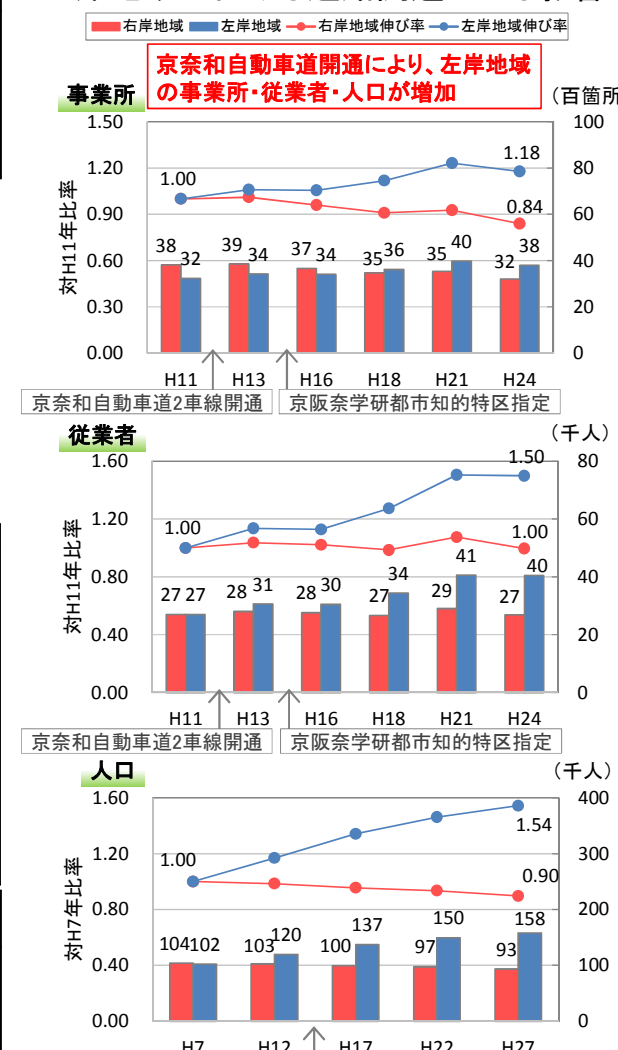
**田辺地区(京田辺市)**

- 同志社大学、同志社女子大学、中学校・高等学校等の施設が立地
- 開発規模:100ha(うち、100%事業地として分譲済み)

**南田辺・粕田地区(京田辺市・精華町)**

- 京都府生物資源研究センター、京都府立大学等の施設が立地
- 開発規模:130ha(うち、27%が事業地として分譲済み)

## ▼左岸地域における道路開通による影響



※右岸地域:城陽市、井手町、旧山城町  
 ※左岸地域:京田辺市、精華町、旧木津町

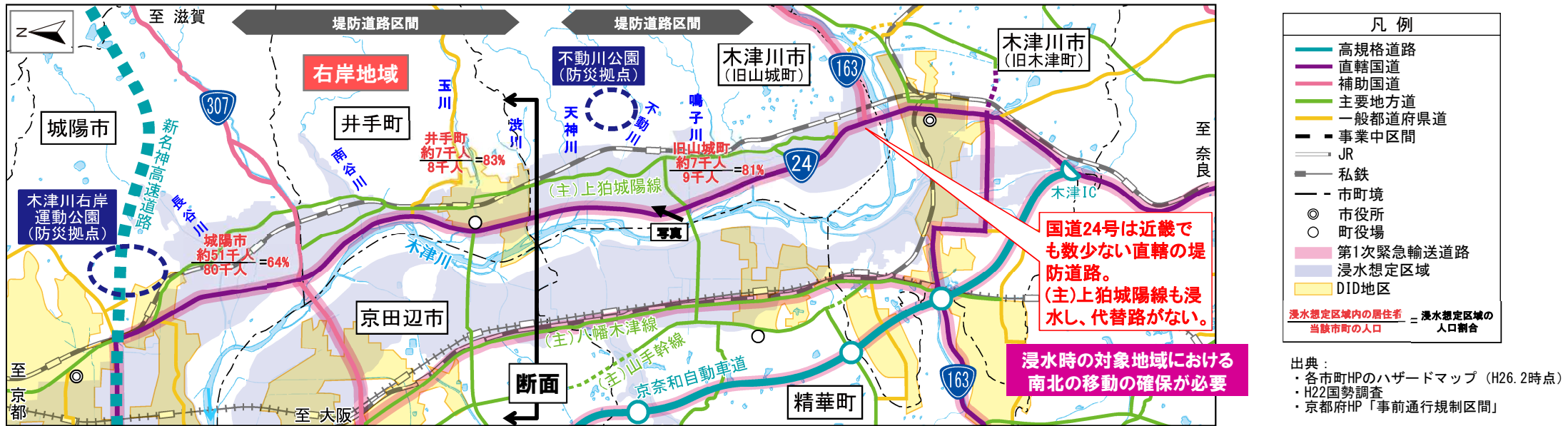
出典: 城陽市東部丘陵地 整備計画 (H19.5)、井手町都市計画 マスタープラン (H22.3)、  
 関西文化学術研究都市建設推進協議会 (H25.4)、京都山城地域企業立地促進基本計画、京阪奈地域広域基本計画

出典: 事業所・企業統計調査、経済センサス、国勢調査

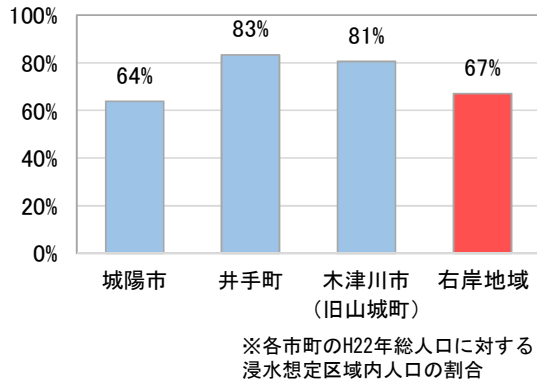
## 2. 地域の現状と課題（防災）

- 木津川や天井川である支流が氾濫した場合は、右岸地域人口の67%が被災すると想定されている。
- 国道24号は防災拠点間を連絡する道路であり、右岸地域唯一の緊急輸送道路であるが、浸水想定区域内にあるため、災害時に防災拠点を繋ぐアクセス道路が存在しない。

### ▼緊急輸送道路ネットワークと浸水想定区域



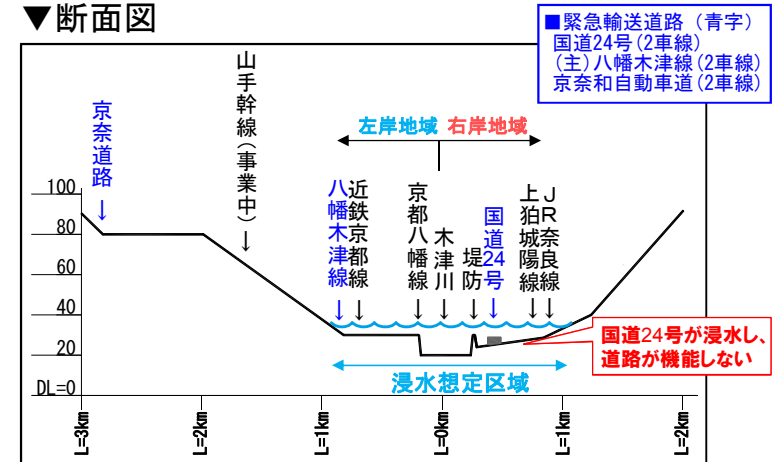
### ▼浸水想定区域の人口割合



### ▼右岸地域の状況

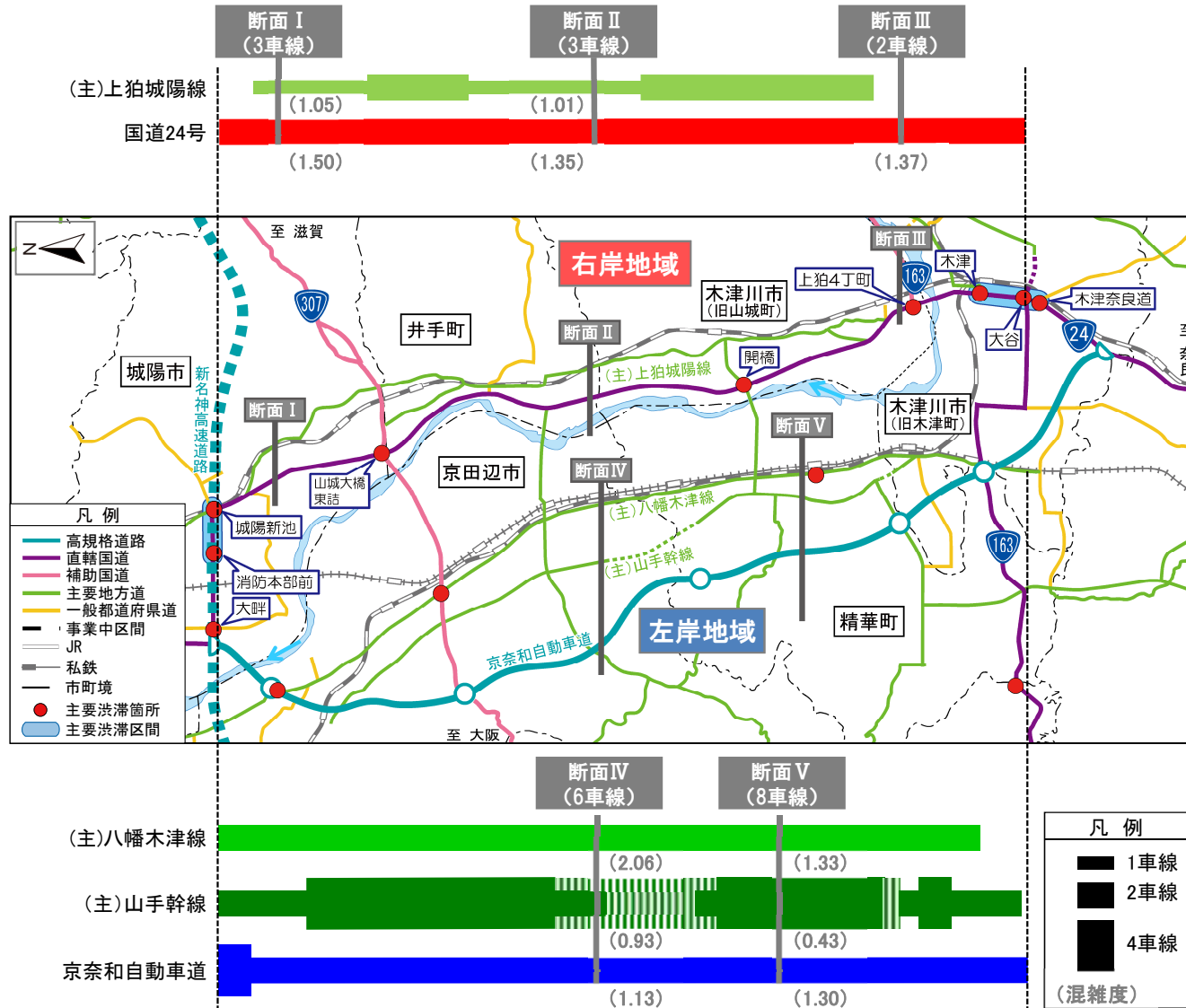


### ▼断面図

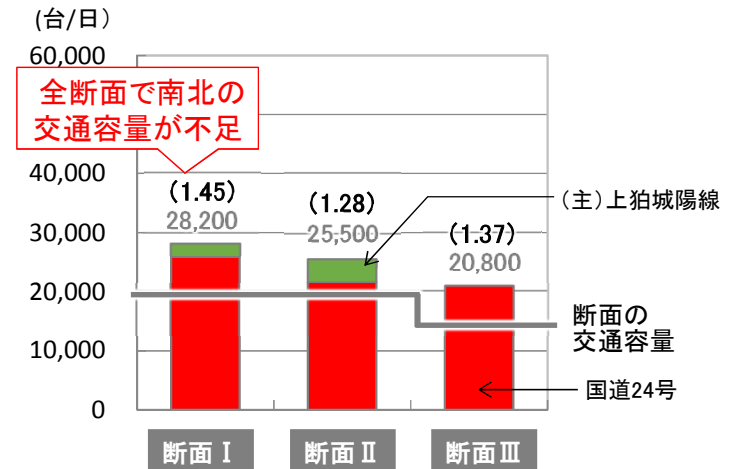


# 3. 道路交通の現状と課題（交通量）

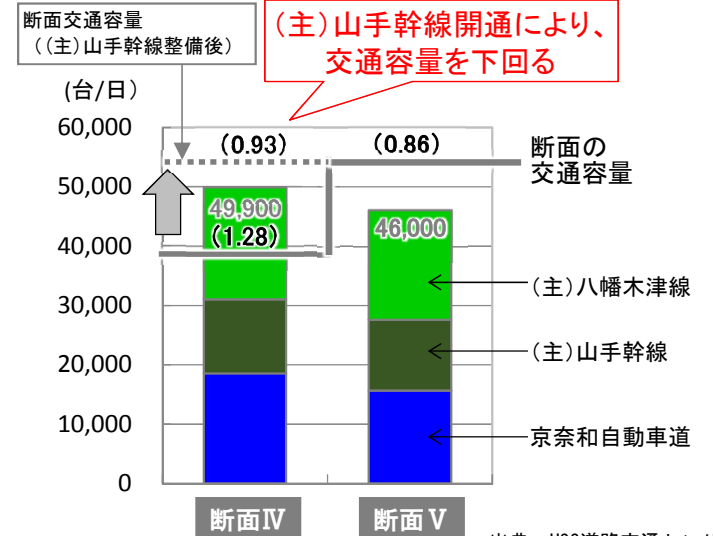
- 右岸地域における南北方向の断面交通量は21千～28千台であり、現状でも交通容量を超過している。
- 左岸地域の断面交通量は46千～50千台であり、容量が超過している区間も(主)山手幹線が整備されると交通容量を下回る。



▼右岸地域断面交通量と混雑度



▼左岸地域の断面交通量と混雑度



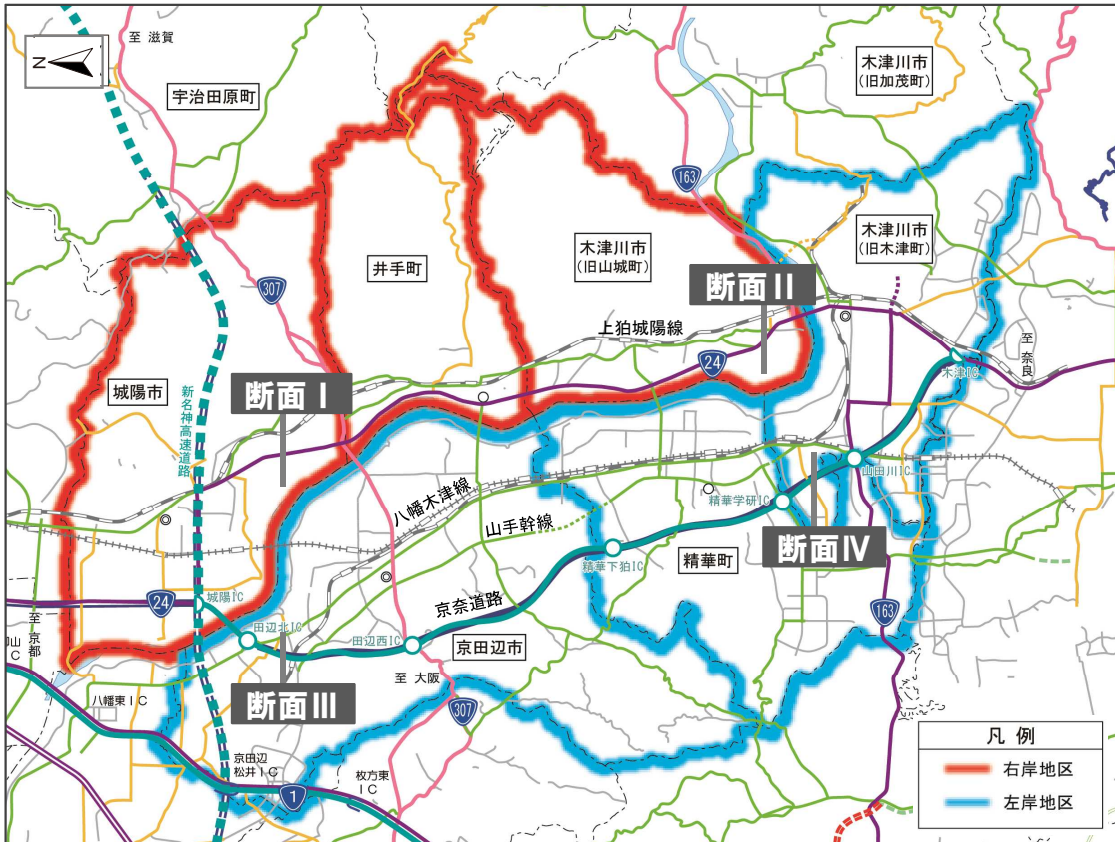


# 3. 道路交通の現状と課題（交通量）

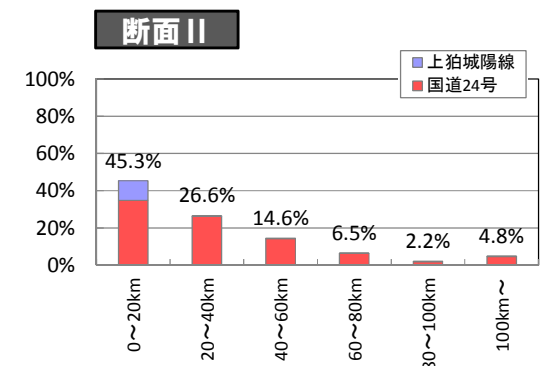
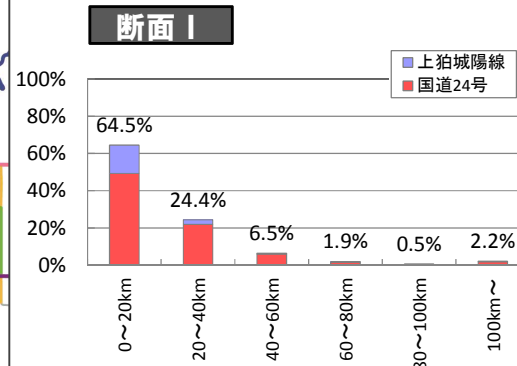
- 右岸地域では「国道24号」が、左岸地域では、「京奈道路」が交通特性の主軸を担う。
- 右岸地域は、短トリップの交通が多いが、左岸地域は長トリップの交通割合が比較的多い。

▼国道24号・京奈道路のトリップ長整理断面

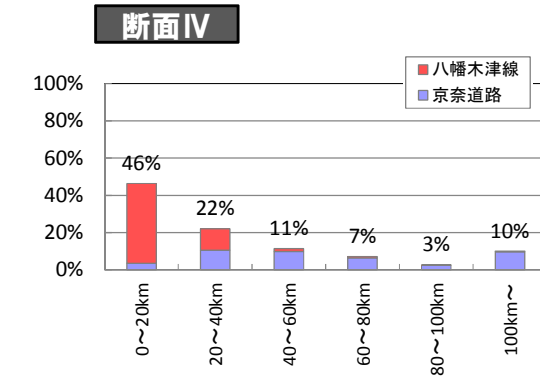
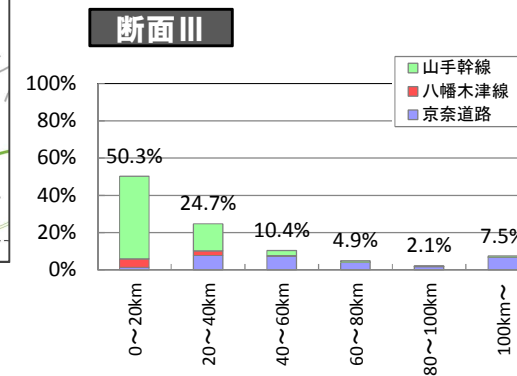
▼トリップ長分布



## 右岸地域



## 左岸地域



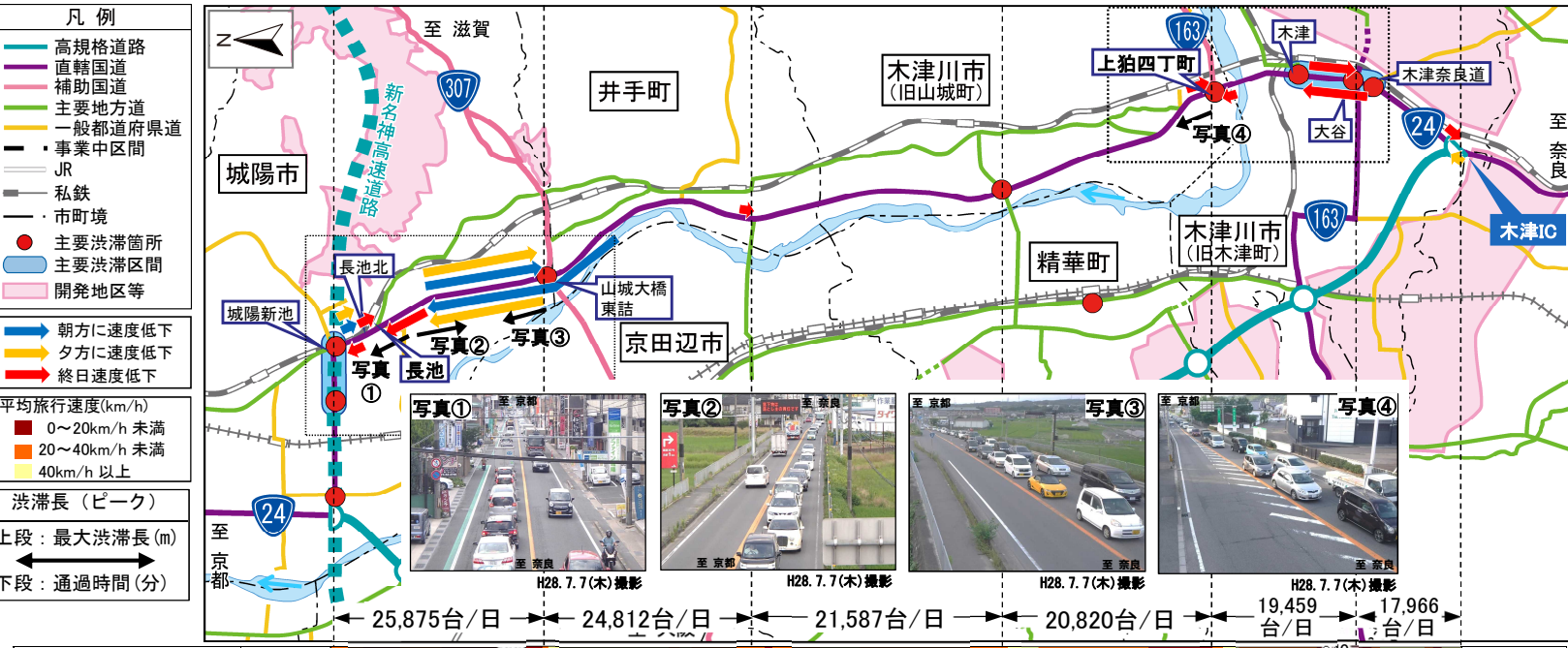
※右岸地域：城陽市、井手町、旧山城町  
 ※左岸地域：京田辺市、精華町、旧木津町  
 ※H170D及びH170DベースのH420Dに基づくH220Dと、H22現況ネットワークによる予測結果



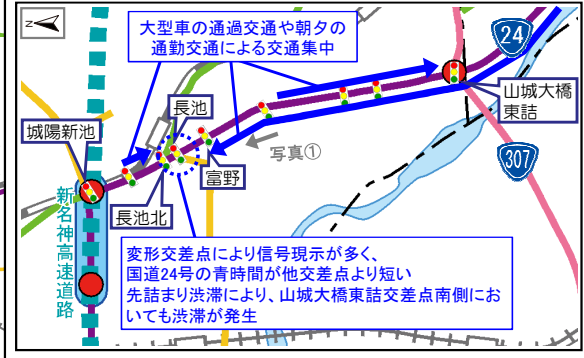
# 3. 道路交通の現状と課題（渋滞）

- 国道24号には、主要渋滞箇所が点在しており、その周辺箇所を中心に速度が低下している。
- 長池付近は朝夕通勤交通による交通集中と変形交差点による影響、上狛四丁町付近は右折交通による直進交通の阻害が速度低下の要因となっている。

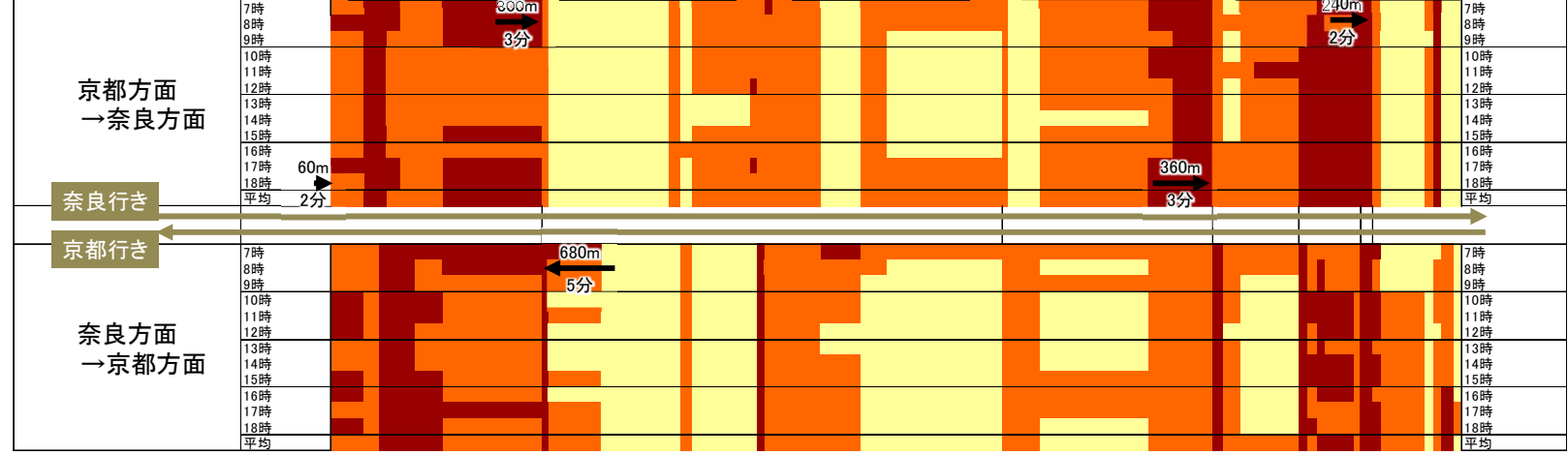
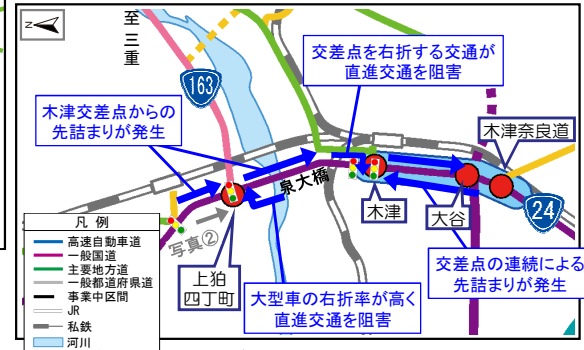
## ▼国道24号の平日旅行速度



## ▼城陽新池～山城大橋東詰間の速度低下原因



## ▼上狛四丁町～木津奈良道間の速度低下原因



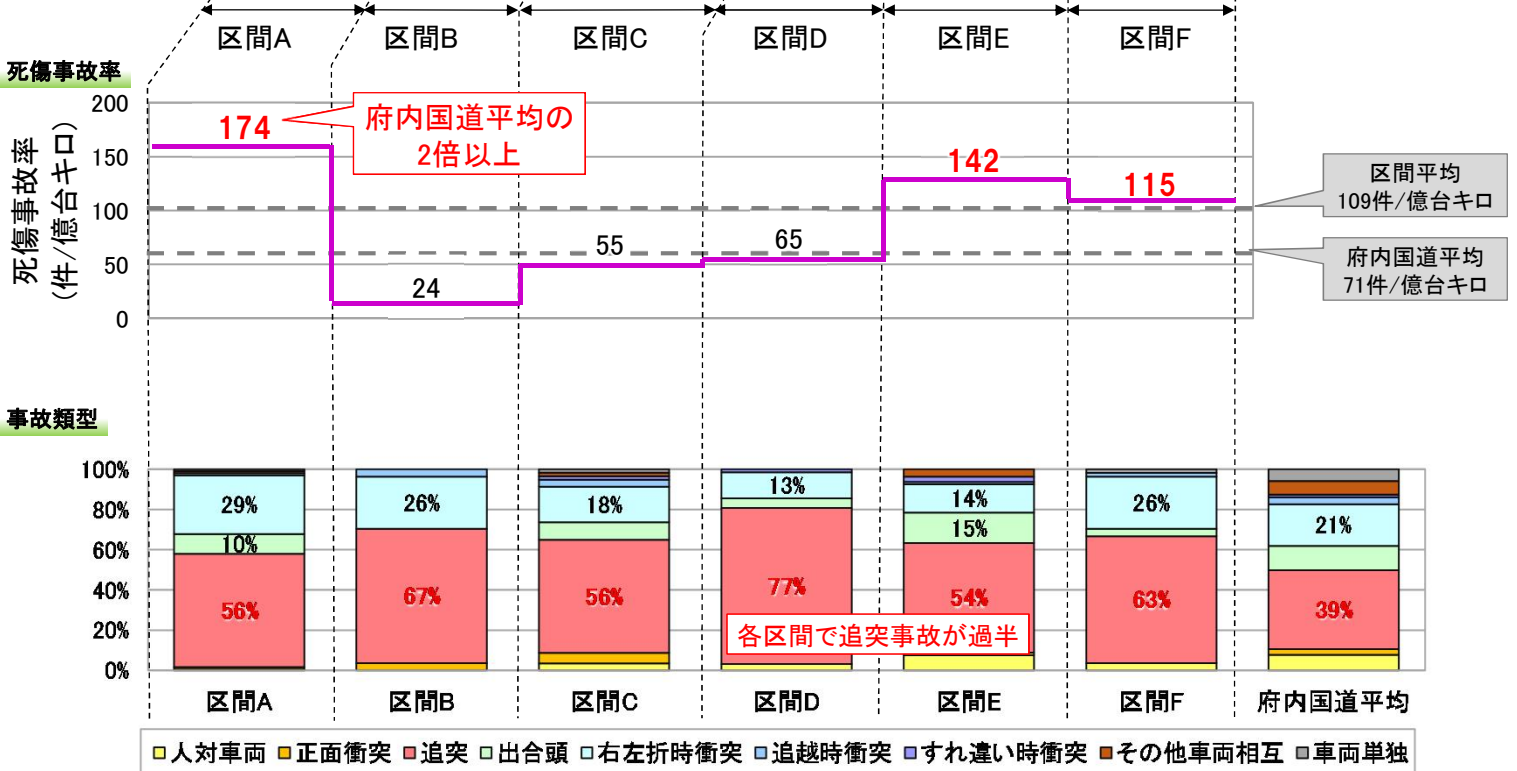
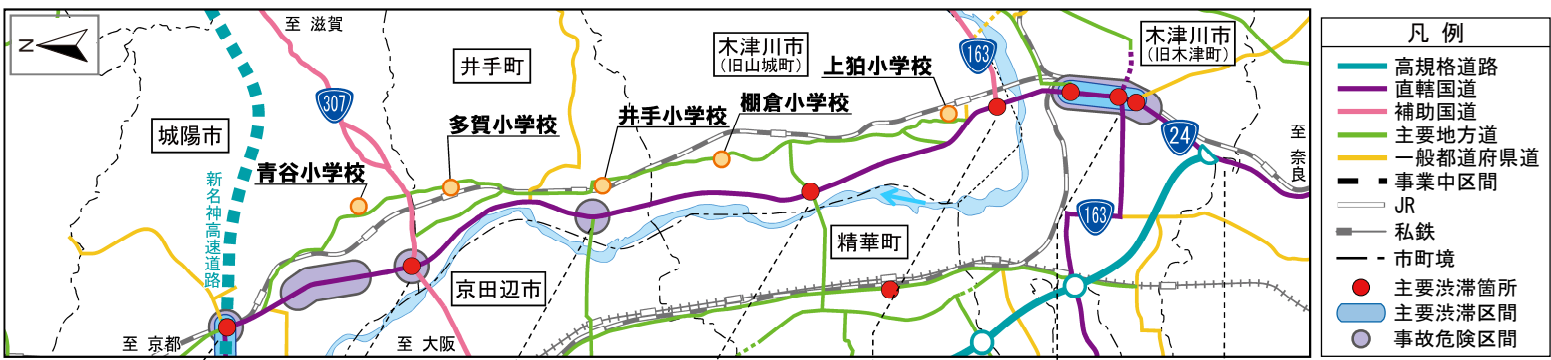
通勤時間帯に国道24号の渋滞に巻き込まれている。特に山城大橋東詰交差点より北側区間で渋滞がひどい。食品の製造・搬送をしており、通勤で遅れると業務に支障がでてしまう。  
(食品加工会社)

出典：民間プローブデータ (H27.3~H28.2 (平日))  
 ※交通量はH22道路交通センサス  
 ※渋滞長は京都国道事務所調べ (H20.3~H26.11 (平日))

# 3. 道路交通の現状と課題（交通事故）

- 国道24号の死傷事故率は、府内国道平均に比べて最大2倍以上、区間平均と比べても約1.5倍となる。
- 国道24号は主に混雑に起因する追突事故が約5～8割を占め、府内国道平均を全区間で上回る。

▼国道24号の交通事故発生状況



▼国道24号における交通事故の発生

**水銀灯倒れ JR運休**

城陽市で発生した交通事故。9日午後6時40分ごろ、城陽市寺田新池の国道24号の交差点で、大型トラックと乗用車が出合い頭に衝突。大型トラックが道路脇の水銀灯にぶつかり、倒れた水銀灯がJR奈良線の信号切替え用のケーブルに接触した。この事故を受け、JR西日本は木津駅か城陽駅方面の交通を遮断し、JR運休となった。警察によると、道路を東に向かって交差点に差し掛かった長崎市雲仙市の運転手(53)が運転していた大型トラックと国道を宇治方面に向かい北進していた城陽市の30歳の女性会社員が運転していた乗用車と交差点で衝突した。トラックは、交差点をほぼそのまま直進する形で国道

東側の水銀灯に衝突した。乗用車に乗っていた2人がいずれも軽傷。城陽市内の病院に搬送されたトラック運転手は入院中で、警察では回復を待つ詳しい事故当時の状況などを調べる方針。

鉄道の信号ケーブル

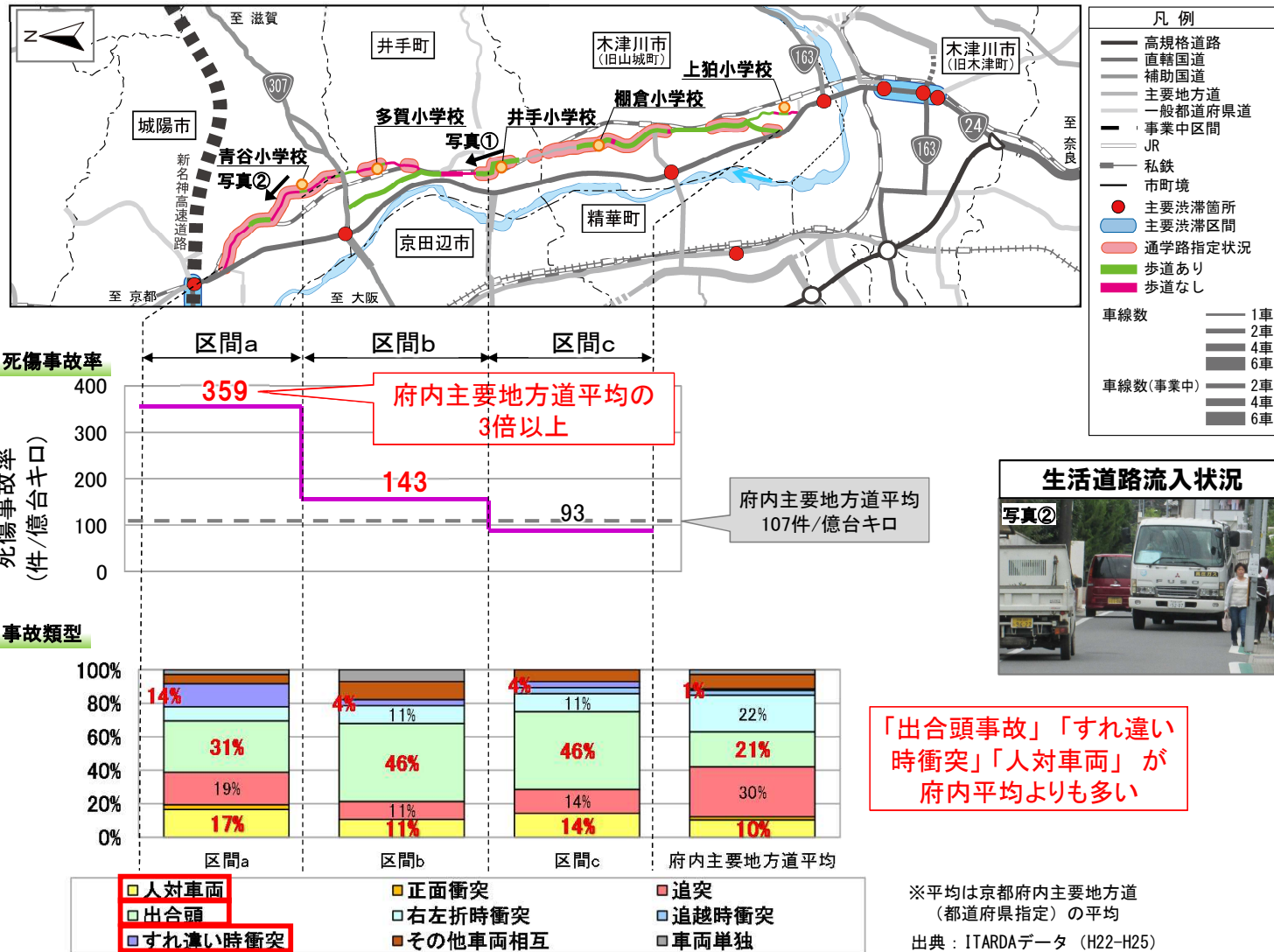
出典：洛南タイムス H27. 8. 11朝刊

※平均は京都府内国道の平均  
出典：ITARDAデータ (H22-25)

# 3. 道路交通の現状と課題（迂回路）

- 混雑した国道24号を回避するため、並行道路の(主)上狛城陽線に通過交通が侵入している。
- (主)上狛城陽線の大部分は通学路に指定されているが、歩道未設置区間が多数存在する。
- (主)上狛城陽線の死傷事故率は、歩道がない区間で府内主要地方道平均に比べて3倍以上となる。

▼(主)上狛城陽線の交通事故発生状況



▼通学路における安全対策に対する指摘

**(主)上狛城陽線は通学路に指定 小学生が走行車両のすぐ脇を通行**

写真①: 通学路の狭い道で車が通行している様子

写真②: 生活道路から流入するトラックの状況

**「出合頭事故」「すれ違い時衝突」「人対車両」が府内平均よりも多い**

**町内の小中学校の通学路は、幅員の狭い道路も多く、とくに井手多賀小学校前の府道は幅員が狭いことに加え、国道24号から流入する通過交通も多いなど、今回の事故現場に近い状況にあることから早急な対策を検討しよう」と指摘した。**

**井手町が関係機関と緊急会議**

通学路の安全対策に関する緊急会議の様子が写っています。

※平均は京都市内主要地方道(都道府県指定)の平均  
出典: ITARDAデータ (H22-H25)



# 4. 地域に配慮すべき事項(自然環境)

○既存文献から重要な動植物が分布するとされている。



### 地蔵院のシダレザクラ(京都府指定天然記念物)

- 樹齢 約280年
- 享保12年(1727年)に植えられたと伝えられる。京都府丸山公園の初代のシダレザクラは地蔵院の先代の親株から株分けされたもの。



出典:「京都府指定文化財」  
京都府HP、井出町HP

### ゲンジボタル保護区

- 南谷川では、住民による源氏ボタルの保護の取り組みが長年続けられており、井手町も「源氏ボタル保護条例」を制定し、源氏ボタルが生息する環境の保全を図っている。



出典:井手町HP

### オオムラサキ(環境省:準絶滅危惧)

- 日本の国蝶。丘陵地等の雑木林に生息し、幼虫時はエノキの葉を食べる。



出典:京都府レッドデータブック 2015、  
第2回自然環境保全基礎調査 等  
写真:ポケット図鑑 日本の昆虫1400(文一総合出版)

### 動物

- 周辺で確認されている希少種として、オオタカ(環境省:準絶滅危惧、京都府:絶滅危惧)、クマタカ(環境省:絶滅危惧ⅠB類、京都府:絶滅危惧)、サシバ(環境省:絶滅危惧Ⅱ類、京都府:絶滅危惧)等の希少猛禽類、ミナミメダカ(環境省:絶滅危惧Ⅱ類、京都府:絶滅危惧)等の魚類、ヒダサンショウウオ(環境省:準絶滅危惧、京都府:準絶滅危惧)等の両生類が報告されている。

出典:京都府レッドデータブック 2015、第2回~7回自然環境保全基礎調査 等

# 5. 政策目標の素案(地域、道路交通の課題とその要因)

		課題	原因	政策目標
地域について	地域経済	<p>○右岸地域における地域活力が低下</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・右岸地域では、製造業を中心に総生産額の減少、製造品出荷額が減少傾向など、地域活力の低下が顕著。</li> </ul>	<p>○地域活性化に向けた主要地域を結ぶネットワークが不十分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南北方向の道路として国道24号以外に(主)上狛城陽線があるが、道路幅員が狭隘な区間が多く、走行性及びネットワークが不十分。</li> </ul>	1. 地域振興を支援する道路ネットワークの強化
	防災	<p>○国道24号が寸断した場合の防災機能の損失</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道24号は第1次緊急輸送道路として防災拠点を連絡。</li> <li>・右岸地域では、国道24号は木津川や支流の浸水想定区域内を通過。地域内に平行する路線も少ないため、河川氾濫時には多くの集落が孤立、救助・救護・復旧活動に支障。</li> </ul>	<p>○代替路がない脆弱な幹線道路ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道24号と(主)上狛城陽線は複数の天井川を有する堤内地に位置するため、洪水時には浸水の可能性が高く信頼性が低い。</li> <li>・南北方向の道路は国道24号と(主)上狛城陽線しかなく、木津川左岸側へのアクセスも河川氾濫時は不可能なことから、災害時での代替路がない。</li> </ul>	
道路について	渋滞	<p>○国道24号における慢性的な交通混雑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道24号では、主要渋滞箇所が点在し、慢性的な交通混雑が発生。</li> </ul>	<p>○主要幹線道路としての機能低下</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南北に移動する道路が限られ、地域内の交通と通過交通が混在し、交通が集中。</li> </ul>	3. 渋滞の緩和
	事故	<p>○国道24号と(主)上狛城陽線で事故が多発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道24号の死傷事故率は、京都府平均を大幅に上回る。また、追突事故など交通混雑に起因する事故が多発。</li> <li>・(主)上狛城陽線の事故発生リスクが高く、児童の安全な通学路の確保が困難など、安全性低下が問題。</li> </ul>	<p>○国道24号の交通容量の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道24号には、製造業を始めとする多くの企業が立地しており、出入り箇所が多く存在し、走行性が悪い。</li> <li>・主要幹線道路である国道24号の混雑を避けるため、周辺の狭隘な道路を抜け道(迂回)として利用。</li> </ul>	4. 交通安全の確保

# 6. 地域の将来像との整合

## 京都府の総合計画等

## 各市町の総合計画等

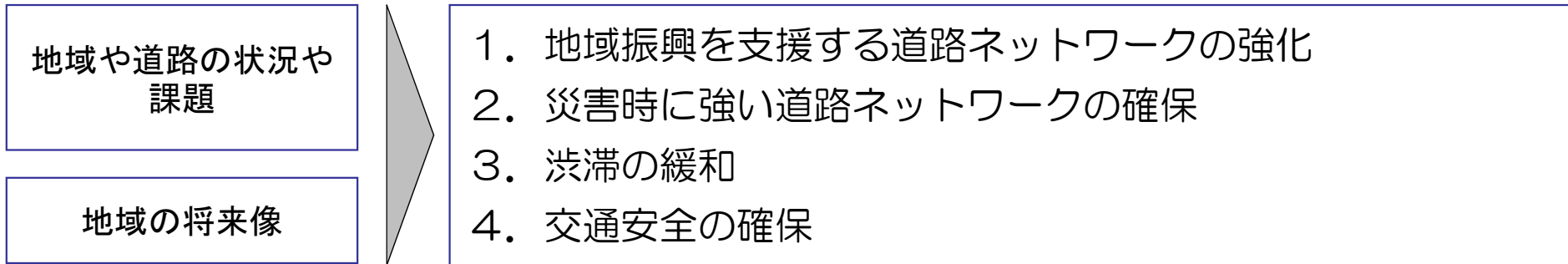
【京都府】「明日の京都山城地域振興計画(H27.3)」	展開施策(抜粋)
【地域活性化・交流を進める社会基盤整備の推進】	<p>○広域交通網の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木津川右岸地域の国道24号は慢性的に渋滞、木津川堤防上のため防災上の課題がある。国道24号のバイパスとなり、新名神高速道路と学研木津地区を結ぶ宇治木津線の整備を促進【交通】【事故】【リダンダンシー】</li> </ul> <p>○木津川右岸地域の社会基盤整備等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新名神高速道路開通を見据えた宇治木津線の整備を進め、交流人口増加や定住化促進、雇用対策等の人口減少対策を図る【産業】【地域経済】</li> </ul>
【中小企業への支援と企業誘致・雇用対策の推進】	<p>○企業誘致の推進と立地企業の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城陽市東部丘陵地において、新名神高速道路の開通インパクトをいかした商業機能や物流機能、さらに関西文化学術研究都市と有機的に連携したものづくり等、地域づくりの推進【産業】【地域経済】</li> </ul>
【京都府】「京の道づくり重点プラン」	重点施策(抜粋)
【災害に対する安心・安全の確保】	<p>○災害に強い道路ネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害時に力を発揮する道路ネットワーク整備【リダンダンシー】</li> </ul>
【日常の暮らしを支える】	<p>○交通環境の安全性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して走れる道路整備</li> <li>・交通事故対策</li> <li>・誰もが安心して歩ける道路整備【事故】</li> </ul>
【地域の活力と魅力の向上】	<p>○道路交通の円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞のない道路整備</li> <li>・高速道路ICへアクセスする道路整備【交通】【地域経済】</li> </ul> <p>○地域活力創出支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業の地方立地や地域振興プロジェクトを支援する道路整備【地域経済】【産業】</li> </ul> <p>○影響の大きいプロジェクト支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都舞鶴港・学研都市との連携を強める道路ネットワーク整備を推進し、交流や連携を促進【地域経済】</li> </ul>

<p>【宇治市】第5次総合計画第2期中期計画(H26.7)</p>	<p>○環境に配慮した安全・安心のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害をはじめとしたあらゆる災害から市民の生命と財産を守るため、防災体制の確立を図る。</li> <li>・増加する救急需要への対応と救命率の向上を図る。【リダンダンシー】【医療】</li> </ul> <p>○歴史香るみどりゆたかで快適なまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路と生活道路の役割を区分し、子どもから高齢者まで安心して歩くことができるように安全対策を実施。</li> <li>・ネットワークの強化と交通渋滞の緩和のため、必要な幹線道路の整備について検討。【事故】【交通】</li> </ul>
<p>【城陽市】第3次城陽市総合計画後期基本計画(H24.9)</p>	<p>○安全・安心のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・増加する救急需要に対応するため、救急・救助体制の確立により、救命率の向上を図る。【医療】</li> </ul> <p>○快適なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業や流通機能の強化をはじめ、災害対応力の強化・広域交通の利便性の向上や「ヒト・モノ・情報」の活発な交流を図る。</li> <li>・生活道路への通過車両の進入を抑制するため、国道24号の慢性的な渋滞解消を図る。【産業】【地域経済】【リダンダンシー】【交通】</li> </ul>
<p>【井手町】第4次井手町総合計画(H23.3)</p>	<p>○美しいまちと安全でやすらぎのある暮らしを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における防災対策の強化により、誰もが安心して暮らせる災害に強いまちを目指す。【リダンダンシー】</li> </ul> <p>○快適な暮らしの基盤をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の整備によって、住民生活における安全で円滑な移動が確保され、良好な道路空間が形成されたまちを目指す。【交通】【事故】</li> </ul> <p>○活気あるまちの産業をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致の推進等により、雇用の場が増え、活気のあるまちを目指す。【地域経済】</li> </ul>
<p>【木津川市】第1次木津川市総合計画(H21.3)</p>	<p>○地域力を活かした産業・事業の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業等の誘致を進めるとともに、その波及効果を木津川市の産業・事業の活性化に結びつける。【地域経済】【産業】</li> </ul> <p>○連携を強め地域を支えるネットワークの創造</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域的な交通を分担する主要幹線道路の整備や地域間交通、市内交通の円滑化を図るための主要道路の整備を進める。</li> <li>・国道24号の渋滞の解消の早期実現を目指す。</li> <li>・市民に身近な生活道路について、交通の利便性や安全性を確保するため、道路環境の改善を図る。【交通】【事故】</li> </ul>

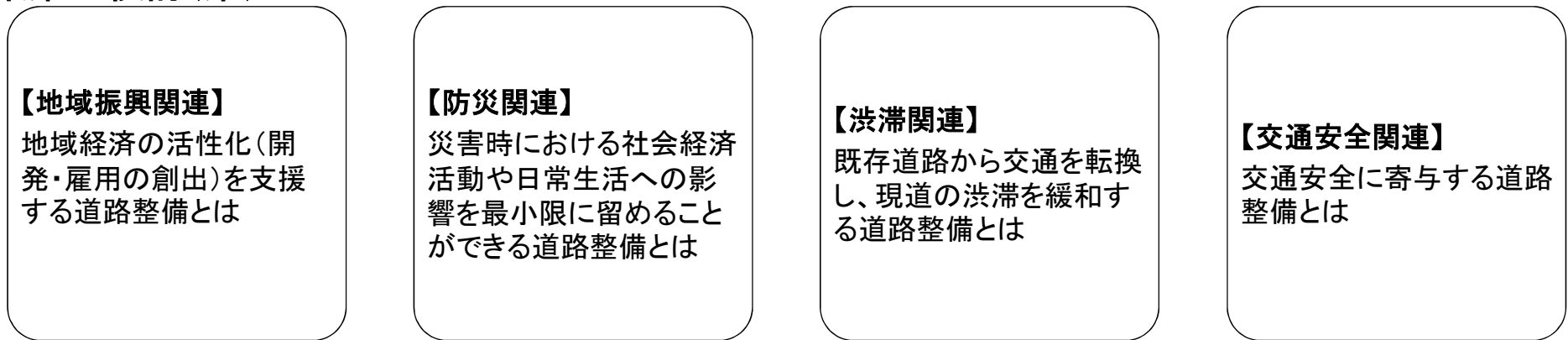


# 7. 政策目標の案(整備方針の検討)

◇地域の課題や将来像等を踏まえ、当該地域の政策目標を設定



◇対策案の検討(案)



当該地域に求められるサービスとは  
⇒安全・安心な沿道空間を確保するとともに、地域振興を支援する道路ネットワークの確保

既存の道路ストックの活用や別線整備等の対策案を複数設定し、検討



## 8. 意見聴取方法(案)

・以下のとおり、地域から意見聴取を実施。

### 1. 意見聴取(1回目)の内容

意見聴取の項目	把握する意見	回答方法
①一般国道24号の 利用状況について	主な利用目的	選択式(複数)
	主な移動手段	選択式(複数)
	利用頻度	選択式(複数)
②地域の課題について	提示した複数の課題について、それぞれどの程度問題だと思うか	選択式(複数)
	提示した課題の他に、困っていることや問題はないか	自由回答
③道路整備の 必要性について	道路整備の必要性が、あると思うか思わないか	選択式(複数)

# 8. 意見聴取方法(案)

## 2. 意見聴取の対象(案)

・アンケートによる意見聴取の対象(案)

項目	調査対象者	調査手法・規模
地域住民	城陽市、井手町、木津川市	広報誌による配布 ※全戸配布 約64,800票
事業者等	城陽市、井手町、木津川市	城陽市・木津川市: 広報誌で配布 ※全戸配布 井手町: 郵送配布・回収 約100票<約340事業所>
道路利用者	京都府等 京都府内の沿道地域	WEBアンケート(事務所ホームページ) 留置アンケート(市町村役場に配置)

・ヒアリング調査による意見聴取の対象(案)

項目		
関係団体	○自治体 【4自治体】	○経済団体 【3団体】
	○観光協会 【2団体】	○トラック協会 【1団体】
	○バス協会 【1団体】	○農業協同組合 【6団体】
	○警察機関 【3団体】	○消防機関 【3団体】
	○医療機関 【1団体】	

## 3. 地域への意向調査の周知方法

情報提供の項目
市町が発行する広報誌折り込みを利用し、全戸に配布
京都国道事務所・市町ホームページに意向調査のバナーを設置し、幅広く広報を実施

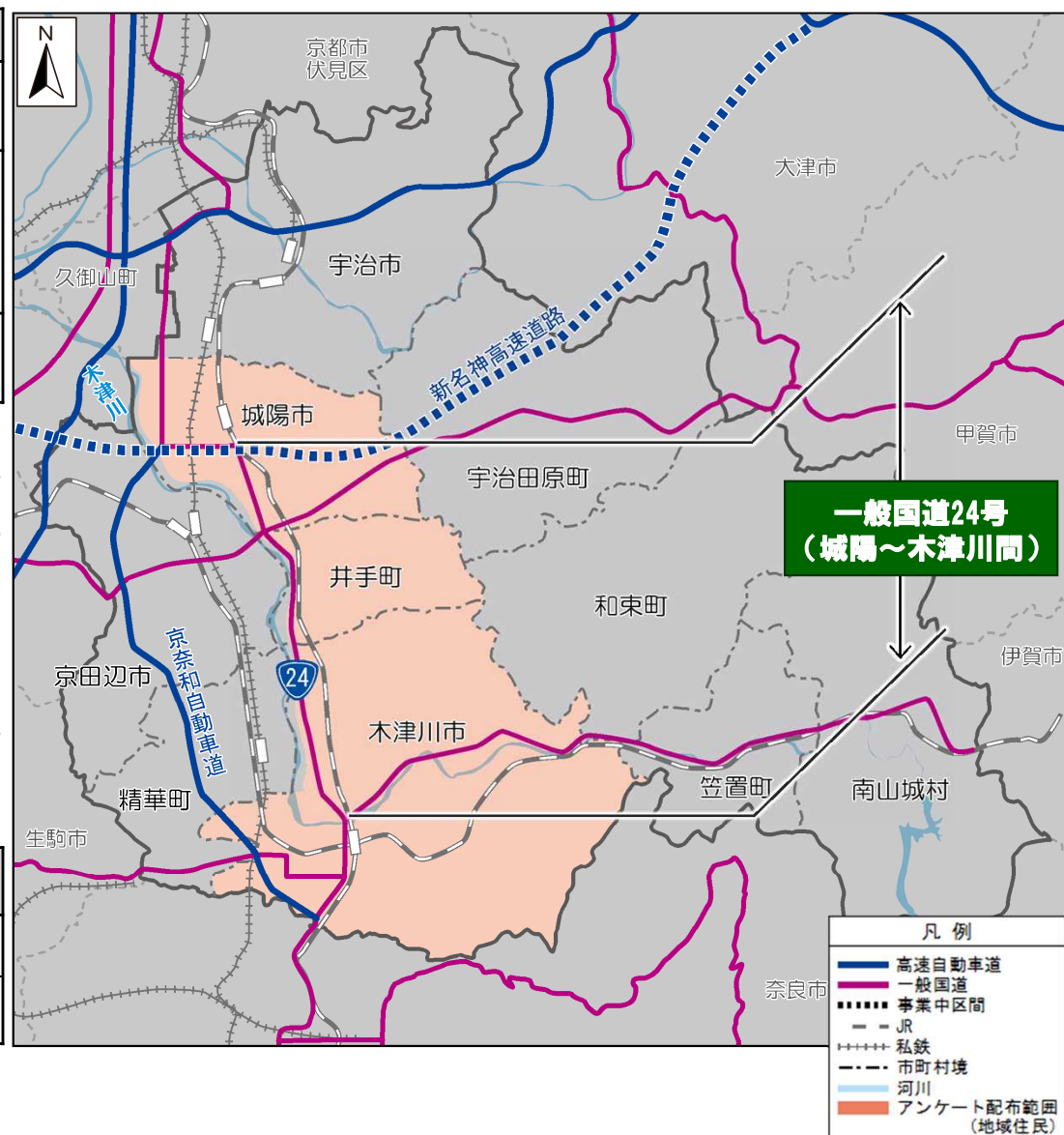
## 4. 意見聴取期間

・1ヶ月程度

## 5. 実施主体

・国土交通省 京都国道事務所

・意向調査の配布範囲



# 8. 意見聴取方法(案)

## 6. 調査の設問案

・第1回意見聴取における調査方法及び質問内容

### 1) 調査概要

計画の概要、計画の対象を提示

### 一般国道24号(城陽～木津川間)の計画検討に関するアンケート調査

◆◆ ご協力をお願い ◆◆

本アンケートは、一般国道24号(城陽～木津川間)の道路計画の検討にあたり、計画づくりの初期段階から、みなさまへ情報提供を行うとともに、広くご意見をお聞きし、それを計画に反映していくための取り組みとして実施するものです。

調査結果は、集計・とりまとめ後、国土交通省 近畿地方整備局 京都国道事務所のホームページ等で掲載する予定です。

今回の調査は、京都府南部の国道24号の周辺地域、木津川市・城陽市・井手町にお住まいの方々等を対象としてさせていただいたものであり、調査結果は統計的に処理し、住所や氏名等、個人の意見が特定されることはありません。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

～アンケート記入にあたってのお願い～

- 1) 世帯のうち、代表の方がご回答ください(世帯主である必要はありません)。
- 2) 企業(自営業含む)の方は「事業所用」、住民の方は「地域住民用」のアンケートにご回答ください。
- 3) アンケートご記入の際には、以降の頁をお読みいただけますよう、お願いします。
- 4) 問1から順番にご回答いただき、葉書にご記入ください。
- 5) 記入済みの葉書は、平成●年●月●日までに、お近くの郵便ポストに投函していただきますよう、お願いします。

#### 【本調査に関する問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 京都国道事務所 計画課  
〒600-8234 京都市下京区西河院通塩小路下南不動堂町808  
TEL:075-351-3300(代)

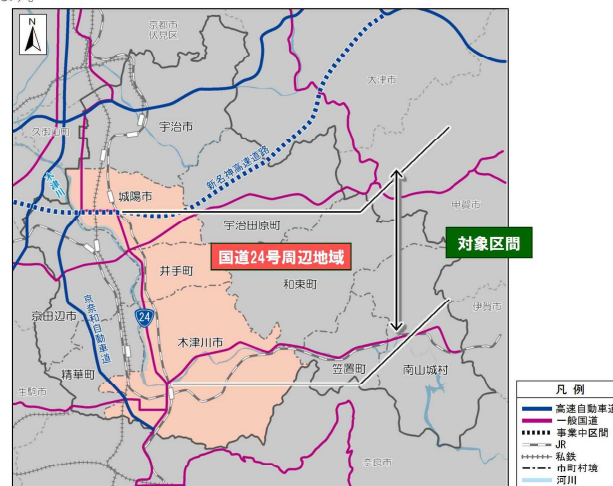
#### 【沿線市町の問い合わせ先】

城陽市役所 まちづくり活性部 東部丘陵整備課 TEL 0774-56-4028  
井手町役場 建設課 TEL 0774-82-6167  
木津川市役所 建設部 TEL 0774-72-0501

### 一般国道24号(城陽～木津川間)の計画検討に関するアンケート調査票

#### ■一般国道24号(城陽～木津川間)とは

京都府南部の国道24号の周辺地域は、木津川市(旧山城町、旧木津町、旧加茂町)・城陽市・井手町の3市町で構成されています。国道24号では、日常的に渋滞が発生し、事故も多発する等、生活や企業活動に影響を及ぼしており、並行して流れる木津川氾濫時には、大きな被害が予測されています。また、周辺では、大規模開発等の開発計画が多く予定されており、今後の交通量の増加が懸念されます。



#### ■アンケート調査へのご協力をお願い

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、アンケート調査を実施します。

本アンケートは、国道24号の様々な課題に対応する計画策定にあたり、地域の皆さまのご意見をお聞かせ頂くための第1回目の調査です。

ご意見は統計処理いたしますので、ご記入頂いた方々にご迷惑をおかけすることはございません。ご多忙の中、恐れ入りますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

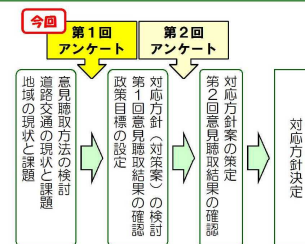


図 計画検討の流れ



# 8. 意見聴取方法(案)

## 6. 調査の設問案

- 第1回意見聴取における調査方法及び質問内容
  - 一般国道24号と地域の現状
  - 地域の課題を提示

### 対象区間の概要

#### 現状と課題① 国道24号における渋滞の発生

国道24号は、特に城陽新池～山城大橋東詰交差点間、上狛四丁町～大谷交差点間で、速度が低下しており、渋滞の緩和が課題となっています。

**山城大橋東詰交差点の状況**

**上狛四丁町交差点の状況**

平均旅行速度 (km/h) ※朝8時  
● 0~20km/h未満  
● 20~40km/h未満  
● 40km/h以上

出典：民間メロブデータ (H26.3~H27.2)

#### 現状と課題② 国道24号及び並行する生活道路における交通事故の多発

国道24号の死傷事故率は、京都市内平均の最大2.5倍となっています。また、国道24号の交通混雑を回避するため、並行する(主)上狛城陽線に交通が進入して事故が多発しており、交通安全性の向上が課題となっています。

**(主)上狛城陽線の状況**

**(主)上狛城陽線の状況**

※死傷事故率、走行台キロ(自動車の走行距離の総和)あたりの死傷事故発生件数

出典：TARDAデータ (H22~H25)

### 現状と課題③ 脆弱な幹線道路ネットワークによる低い防災機能

国道24号は、防災拠点を連絡する右岸地域唯一の緊急輸送道路ですが、木津川や支流が氾濫した場合、国道24号は道路の役割を十分に果たせない可能性があります。また、対象区間沿線地域の居住者の7割が浸水想定区域内に住んでおり、防災面における安全性の向上が課題となっています。

**浸水想定区域の人口割合**

市町村	割合	人口
城陽市	64%	81,073
井手町	83%	7,030
木津川市(旧山城町)	81%	7,157
合計	67%	97,370

**浸水イメージ**

出典：H22国勢調査を用いて算出

#### 現状と課題④ 経済活動や新たなまちづくりを支える走りやすい道路が不足

市内総生産額や製造品出荷額は減少傾向にあり、地域経済が衰退しています。また、国道24号沿道の物流・食品企業等は、交通混雑により経済活動の効率性が低下しています。南北の道路は国道24号と(主)上狛城陽線がなく、地域経済の活性化や新たなまちづくりを支援する道路不足が課題となっています。

**市内総生産額の変化(国道24号周辺地域)**

品目	H19	H20
製造業	2200億円	1800億円
卸売業・小売業	461億円	458億円
飲食店・サービス業	182億円	182億円
建設業	322億円	322億円
不動産業	430億円	430億円
医療・福祉	100億円	100億円
教育・文化・スポーツ	56億円	56億円
その他	100億円	100億円
合計	3070億円	2600億円

**製造品出荷額の変化(H20年比率)**

品目	H20	H21	H22	H23	H24	H25
京都市	1.00	0.85	0.80	0.78	0.75	0.72
国道24号周辺地域	1.00	0.80	0.75	0.72	0.70	0.68

出典：京都市町村民経済計算課

# 8. 意見聴取方法(案)

## 6. 調査の設問案

・第1回意見聴取における調査方法及び質問内容

3) 質問事項(住民等)

①道路利用状況について ②地域の課題について ③道路整備の必要性について

■ 回答方法  
郵送配布された返信用ハガキに  
必要事項を記入し、郵便ポストに投函

**第1回アンケート調査票(案) 地域住民・道路利用者**

※回答はハガキにご記入ください。

**問1 一般国道24号(城陽～木津川間)の道路利用についてお聞きします。**

一般国道24号(城陽～木津川間)の道路利用に関する問の回答について、ハガキにお書きください。その他を選択された方は、( )内に具体的な内容をお書きください(※を1つずつ)。

① 主な利用目的	1. 仕事	2. 通勤・通学	3. 家事(買い物など)	4. 送迎
	5. レジャー・ドライブなど	6. 利用しない(※問2へ)	7. その他	
② 主な移動手段	1. 自動車	2. 公共交通(バス・タクシー)	3. バイク	
	4. 自転車	5. 徒歩		
③ 利用頻度	1. ほとんど毎日	2. 週に3～4回	3. 週に1～2回	
	4. 月に1～2回	5. 年に数回		

**問2 地域の課題についてお聞きします。**

**問2-1 一般国道24号(城陽～木津川間)の道路交通に関する①～④のそれぞれの問に対する回答について、ハガキにご記入ください(※を1つずつ)。**  
 回答する際、パンフレット「一般国道24号周辺地域の概要」をご参考ください。

① 国道24号(城陽～木津川間)で渋滞が発生

1. 問題だと思う    2. やや問題だと思う  
3. あまり問題だと思わない  
4. 問題だと思わない    5. わからない

② 国道24号及び並行する生活道路(主)上狛城陽線)で事故が多発

1. 問題だと思う    2. やや問題だと思う  
3. あまり問題だと思わない  
4. 問題だと思わない    5. わからない

③ 木津川や支流が氾濫した場合、国道24号が通行不能となる

1. 問題だと思う    2. やや問題だと思う  
3. あまり問題だと思わない  
4. 問題だと思わない    5. わからない

④ 沿線地域の経済活動や新たなまちづくりを支援する道路が不足

1. 問題だと思う    2. やや問題だと思う  
3. あまり問題だと思わない  
4. 問題だと思わない    5. わからない

郵便はがき

〒 600-8234

利金受取人氏名

京都府京都市下京区西洞院通塩小路下南不動堂町808

国土交通省近畿地方整備局  
京都国道事務所  
計画課 行

〒 〇〇〇-〇〇〇〇

番出有効期限  
平成〇〇年〇〇月  
〇〇日まで

〒 〇〇〇-〇〇〇〇

※郵便番号をご記入ください

問1 ①主な利用目的について(単一回答)  
 1  2  3  4  5  6  
 7 その他: ( ) → 問2へ

②主な移動手段について(単一回答)  
 1  2  3  4  5

③利用頻度について(単一回答)  
 1  2  3  4  5

問2-1 ①渋滞について(単一回答)  
 1  2  3  4  5

②交通事故について(単一回答)  
 1  2  3  4  5

③氾濫について(単一回答)  
 1  2  3  4  5

④まちづくりを支援する道路について(単一回答)  
 1  2  3  4  5

**問2-2 一般国道24号(城陽～木津川間)の道路交通に関する問題について、問2-1の回答の主な理由や、地域で困っていること、改善して欲しいことなどがあれば、ハガキの回答欄にご自由にお書きください。**

**問3 一般国道24号(城陽～木津川間)の道路整備の必要性についてお聞きします。**

一般国道24号(城陽～木津川間)において、「問2-1」及び「問2-2」に挙げた問題を解消するために、道路整備が必要だと思いますか。回答をハガキにお書きください(※を1つ)。

1. 必要だと思う    2. やや必要だと思う    3. あまり必要だと思わない  
4. 必要だと思わない    5. わからない

**問4 あなた自身のことについてお聞きします。**

それぞれの問について、回答をハガキにお書きください(※を1つずつ)。「③郵便番号」については、□内に数字をご記入ください。

① 性別

1. 男性     2. 女性

② 年齢

1. 10歳代    2. 20歳代    3. 30歳代  
4. 40歳代    5. 50歳代    6. 60歳代  
7. 70歳代以上

**問2-2** 問2-1で道路交通の問題として段階から進んだ理由や、地域で困っていること、改善してほしいこと

**問3** 道路整備の必要性について(単一回答)  
 1  2  3  4  5

**問4** あなた自身についてお聞かせください(単一回答)

①性別     男性     女性

②年齢     10歳代     20歳代     30歳代     40歳代  
 50歳代     60歳代     70歳代以上

③郵便番号    〒 □□□-□□□□  
※郵便番号をご記入ください

④利用頻度     1     2     3     4  
 5     6

③郵便番号

〒 □□□-□□□□  
※郵便番号をご記入ください

④普段の車の利用頻度

1. ほとんど毎日    2. 週に3～4回  
3. 週に1～2回    4. 月に1～2回  
5. 年に数回    6. 利用しない

**問5 その他**

ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力いただき、ありがとうございました。

裏面につづく→

# 8. 意見聴取方法(案)

## 6. 調査の設問案

・第1回意見聴取における調査方法及び質問内容

4) 質問事項(事業者等)

①道路利用状況について ②地域の課題について ③道路整備の必要性について

■ 回答方法  
郵送配布された返信用ハガキに  
必要事項を記入し、郵便ポストに投函

**第1回アンケート調査票(案) 事業所用**  
※回答はハガキにご記入ください。

**問1 貴事業所の普段の自動車利用についてお聞きします。**  
一般国道24号(城陽～木津川間)の道路利用に関する問の回答について、ハガキにお書きください。その他を選択された方は、( )内に具体的な内容をお書きください(☑を1つずつ)。

① 貴事業所の主な運行目的	1. 営業	2. 運送・運搬	3. 調査	4. 送迎(顧客)
	5. 送迎(社内)	6. 旅客	7. 運行しない(※問2へ)	8. その他

② 利用頻度	1. ほとんど毎日	2. 週に3～4回	3. 週に1～2回
	4. 月に1～2回	5. 年に数回	

**問2 地域の課題についてお聞きします。**  
**問2-1** 一般国道24号(城陽～木津川間)の道路交通に関する①～④のそれぞれの問に対する回答について、ハガキにご記入ください(☑を1つずつ)。回答する際、パンフレット「一般国道24号周辺地域の概要」をご参考ください。
 

① 国道24号(城陽～木津川間)で渋滞が発生

1. 問題だと思う    2. やや問題だと思う

3. あまり問題だと思わない

4. 問題だと思わない    5. わからない

郵便はがき

〒 600-8234

料金を取らず

京都府京都市下西区西洞院通  
塩小路下南不動堂町808

国土交通省近畿地方整備局  
京都国道事務所  
計画課 行

※有効期限  
平成29年10月  
31日まで

② 国道24号及び並行する生活道路(主)上柏城陽線)で事故が多発

1. 問題だと思う    2. やや問題だと思う

3. あまり問題だと思わない

4. 問題だと思わない    5. わからない

**問1** ①主な運行目的について(単一回答)

1 2 3 4 5 6 7 8 その他: ( )

②利用頻度について(単一回答)

1 2 3 4 5

③ 木津川や支流が氾濫した場合、国道24号が通行不能となる

1. 問題だと思う    2. やや問題だと思う

3. あまり問題だと思わない

4. 問題だと思わない    5. わからない

**問2-1** ①渋滞について(単一回答)

1 2 3 4 5

②交通事故について(単一回答)

1 2 3 4 5

③防災について(単一回答)

1 2 3 4 5

④まちづくりを支援する道路について(単一回答)

1 2 3 4 5

④ 沿線地域の経済活動や新たなまちづくりを支援する道路が不足

1. 問題だと思う    2. やや問題だと思う

3. あまり問題だと思わない

4. 問題だと思わない    5. わからない

**問2-2** ①郵便番号

〒 □□□□-□□□□

②従業員数

1. 1～4人    2. 5～9人

3. 10～19人    4. 20～29人

5. 30～49人    6. 50～99人

7. 100～199人    8. 200～299人

9. 300人以上

③貴事業所の主な業種

1. 農業・林業    2. 水産業    3. 鉱業・採石業

4. 建設業    5. 製造業    6. 電気・ガス業

7. 水道業    8. 情報通信業    9. 運輸業

10. 卸売業    11. 小売業    12. 金融・保険業

13. 不動産業    14. 物品賃貸業

15. 学術研究・技術サービス業    16. 宿泊業

17. 飲食業    18. 生活関連サービス業

19. 娯楽業    20. 教育・学習支援業

21. 医療・福祉業    22. その他サービス業

23. その他

**問2-2** 一般国道24号(城陽～木津川間)の道路交通に関する問題について、問2-1の回答の主な理由や、地域で困っていること、改善して欲しいことなどがあれば、ハガキの回答欄に自由にお書きください。
 

**問3 一般国道24号(城陽～木津川間)の道路整備の必要性についてお聞きします。**  
一般国道24号(城陽～木津川間)において、「問2-1」及び「問2-2」に挙げた問題を解消するために、道路整備が必要だと思いませんか。回答をハガキにお書きください(☑を1つ)。

1. 必要だと思う    2. やや必要だと思う    3. あまり必要だと思わない

4. 必要だと思わない    5. わからない

**問4 貴事業所のことについてお聞きします。**  
それぞれの問について、回答をハガキにお書きください(☑を1つずつ)。「③郵便番号」については、□内に数字をご記入ください。なお、その他を選択された方は、( )内に具体的な内容をお書きください。

①郵便番号

〒 □□□□-□□□□

②従業員数

1. 1～4人    2. 5～9人

3. 10～19人    4. 20～29人

5. 30～49人    6. 50～99人

7. 100～199人    8. 200～299人

9. 300人以上

③貴事業所の主な業種

1. 農業・林業    2. 水産業    3. 鉱業・採石業

4. 建設業    5. 製造業    6. 電気・ガス業

7. 水道業    8. 情報通信業    9. 運輸業

10. 卸売業    11. 小売業    12. 金融・保険業

13. 不動産業    14. 物品賃貸業

15. 学術研究・技術サービス業    16. 宿泊業

17. 飲食業    18. 生活関連サービス業

19. 娯楽業    20. 教育・学習支援業

21. 医療・福祉業    22. その他サービス業

23. その他

**問5 その他**  
ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。  
ご協力いただき、ありがとうございました。

裏面につづく→



# 9. 今後の計画段階評価のすすめ方(案)

## ■今後の計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)

地域住民や道路利用者の意見を聞きながら、道路計画【概略の計画案(複数案)】について検討を行う。

今回

【平成28年12月】

### 第1回 近畿地方小委員会

- 地域の現状と課題
  - ・右岸地域における地域活力低下
  - ・国道24号が寸断した場合の防災機能損失
  - ・国道24号の速度低下と事故多発
- 政策目標案の設定
- 第1回意見聴取方法
- 計画段階評価の進め方

### 地域の意見聴取 (第1回)

- ①地域の課題
- ②道路交通の課題
- 第1回意見聴取方法  
《アンケート調査等》
- 対象者：  
地域住民  
事業所  
(工業団地・企業等)  
道路利用者  
地元代表者等

### 第2回 近畿地方小委員会

- 第1回意見聴取結果の確認
- 政策目標の設定
- 複数案比較及び計画範囲  
⇒概ね500m帯ルート
- 第2回意見聴取方法

### 地域の意見聴取 (第2回)

- ①評価項目
- ②複数案の比較評価
- 第2回意見聴取方法  
《アンケート調査等》
- 対象者：  
地域住民  
事業所  
(工業団地・企業等)  
道路利用者  
地元代表者等

### 第3回 近畿地方小委員会

- 第2回意見聴取結果の確認
- 対策方針案の検討  
(地域の意見を考慮)

対応方針の決定  
(道路が通る概ねのルート)

地方小委員会